

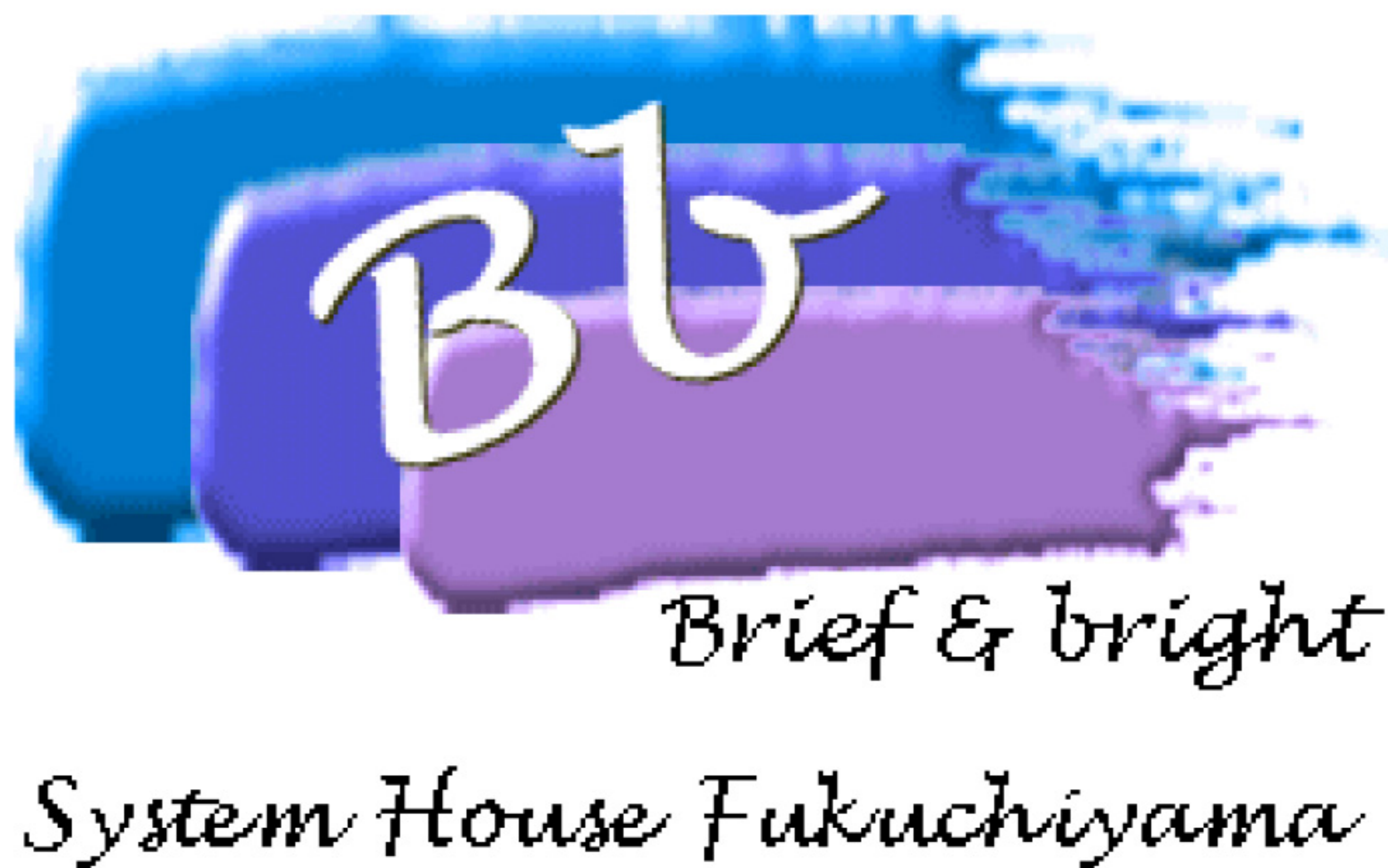
B&B

Brief & bright

概要資料



株式会社SHF



いままでのパネル割付CADによる図面作成の考え方を変えた
新しいALC・押出成形版 パネル自動割付システム Bb(Brief & bright)です。

Bb(Brief & bright)は簡単で利口なCADという意味です。
簡単に使える、お客様にとって便利で役に立つCADであることを一番に考えて作成いたしました。
パネル割付CADの販売を通して当社で培った経験と実績の集大成のCADシステムです。

Bb(Brief & bright) の特徴

● 画期的

DXF読取機能で入力時間の大幅短縮！

● 易しい

一つの画面上での入力によって、入力の流れ・操作の流れがひと目分かる画面構成におり、
コンピュータが苦手という人にも簡単に扱うことができます。

● 簡単

高度な自動割付・自動集計機能で面倒な施工図面作成や発注書作成も簡単に行うことができます。
豊富な初期値設定を行うことで、入力作業がより簡単になっています。

● 自由

細かい設定も自由自在です。
柱・壁・梁・開口などの部材詳細や壁端部入替・パネル割付での幅・長さ変更も自由に簡単に
設定することができます。

● 完全

平面と立面はもちろん作図データとも完全連動しています。
集計機能では各メーカー指定の発注書に完全対応しています。
施工図面と発注との違いを認識してチェックを行い、完全な作図図面を作成します。
また施工図面には発注処理後パネルナンバリングを行います。

● 安心

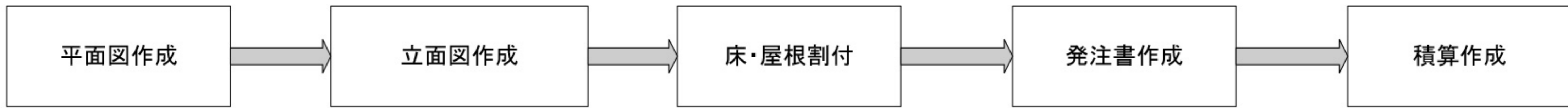
TEL・FAXに加えて、WEBやE-Mail・専用通信回線を利用した充実のサポート体制。
専任のサポート要員によるすばやい対応で安心してご利用いただけます。



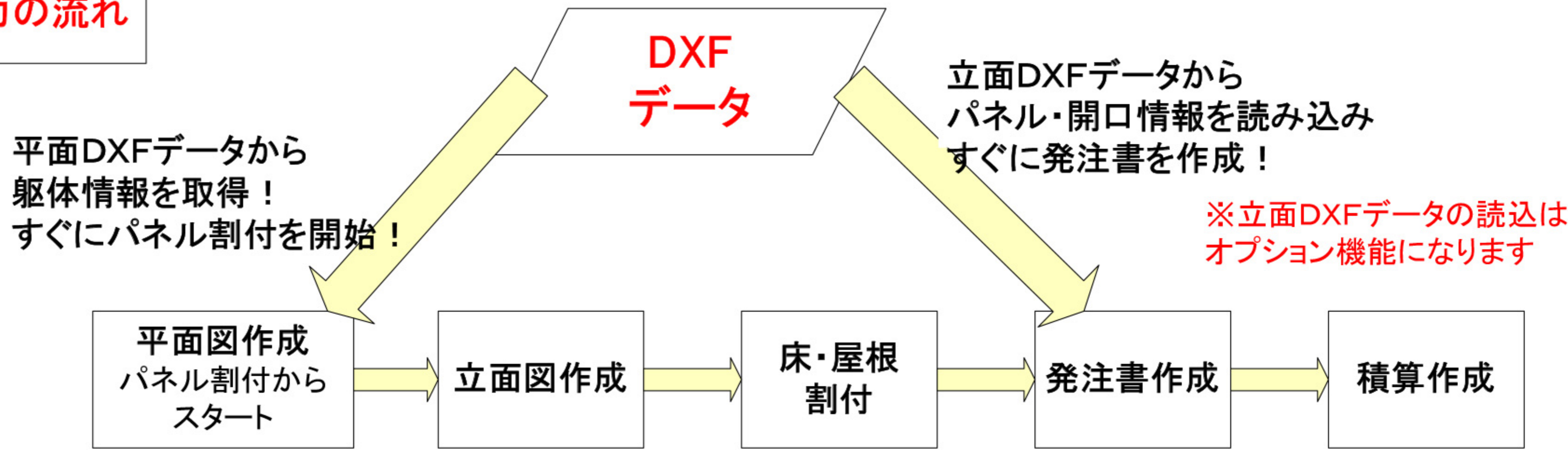
DXF読込機能

Bb の最大の特徴はこのDXF読込機能です。
この機能により、いままでのパネル割付CADの図面作成の考え方がまったく変わりました。
DXFデータを有効利用することによって入力時間の大幅な短縮を行います。

今までの入力の流れ

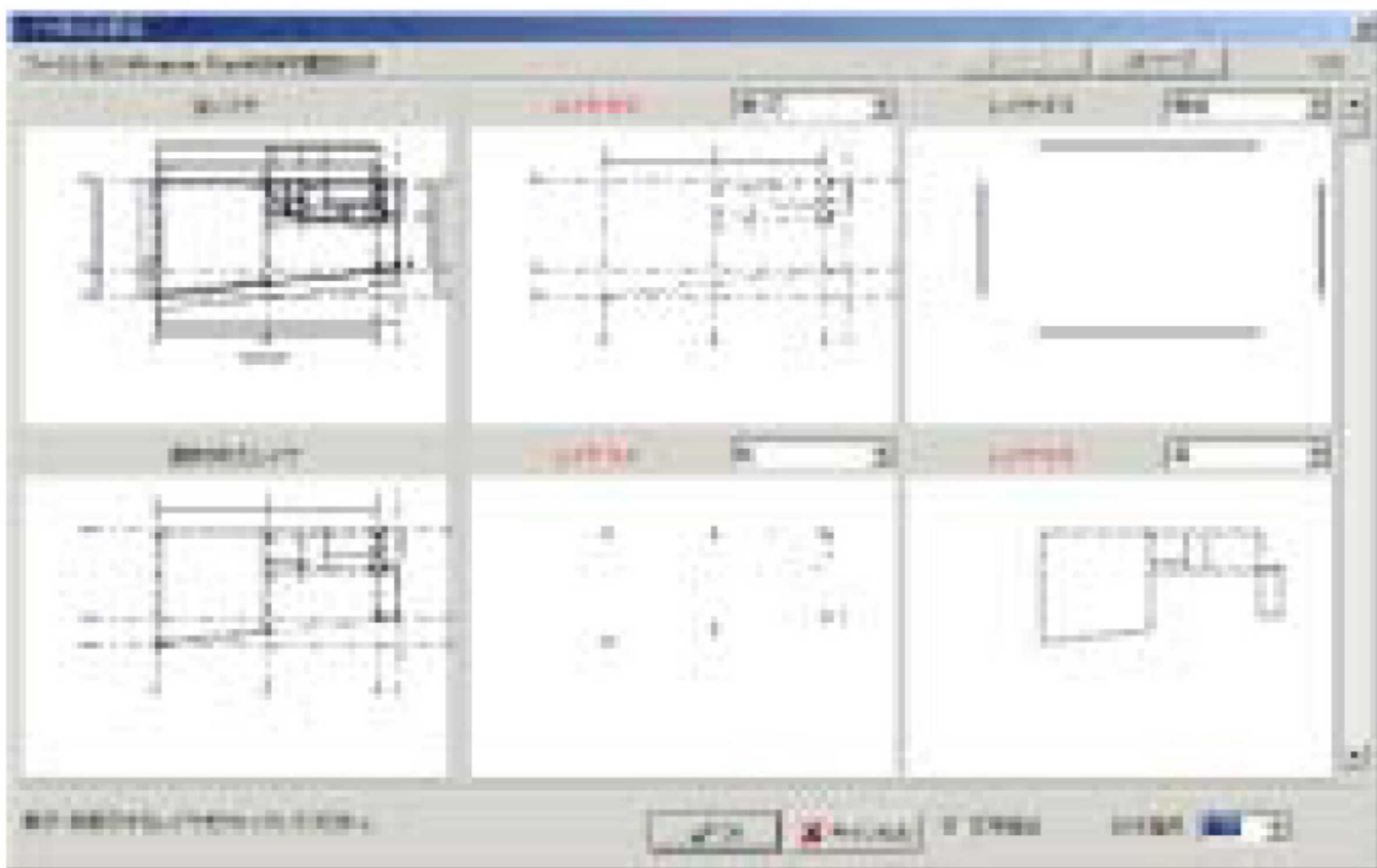


Bbでの入力の流れ

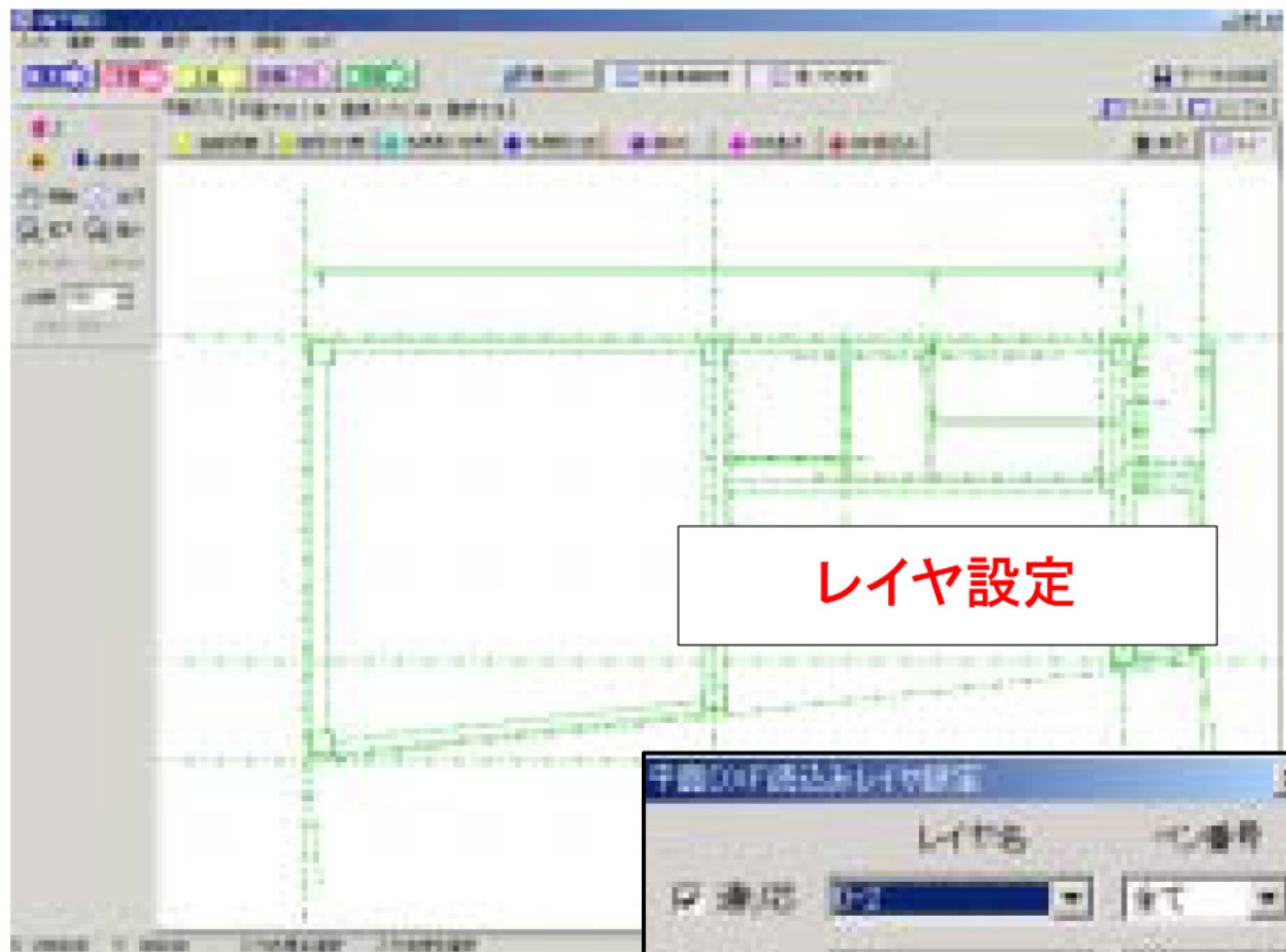


DXF平面読込機能

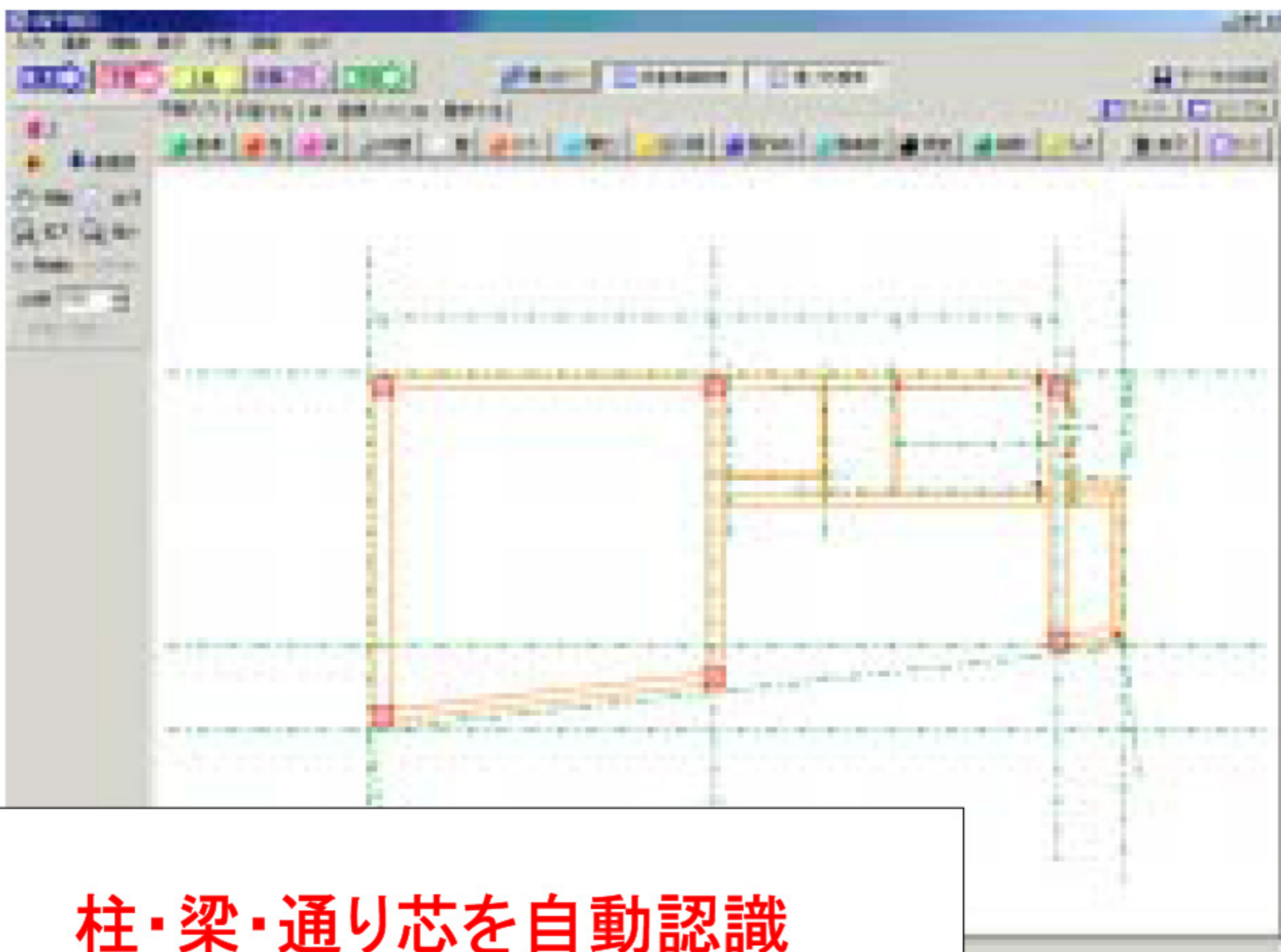
☆DXF形式の平面データから通り芯・柱・梁などの躯体情報を自動読み取りをおこない
すぐさまパネル割付に取りかかることが可能です。



DXFデータ読込



レイヤ設定



柱・梁・通り芯を自動認識

変換されたデータは BbのCADデータとして認識されますので、各部材の変更も可能です。

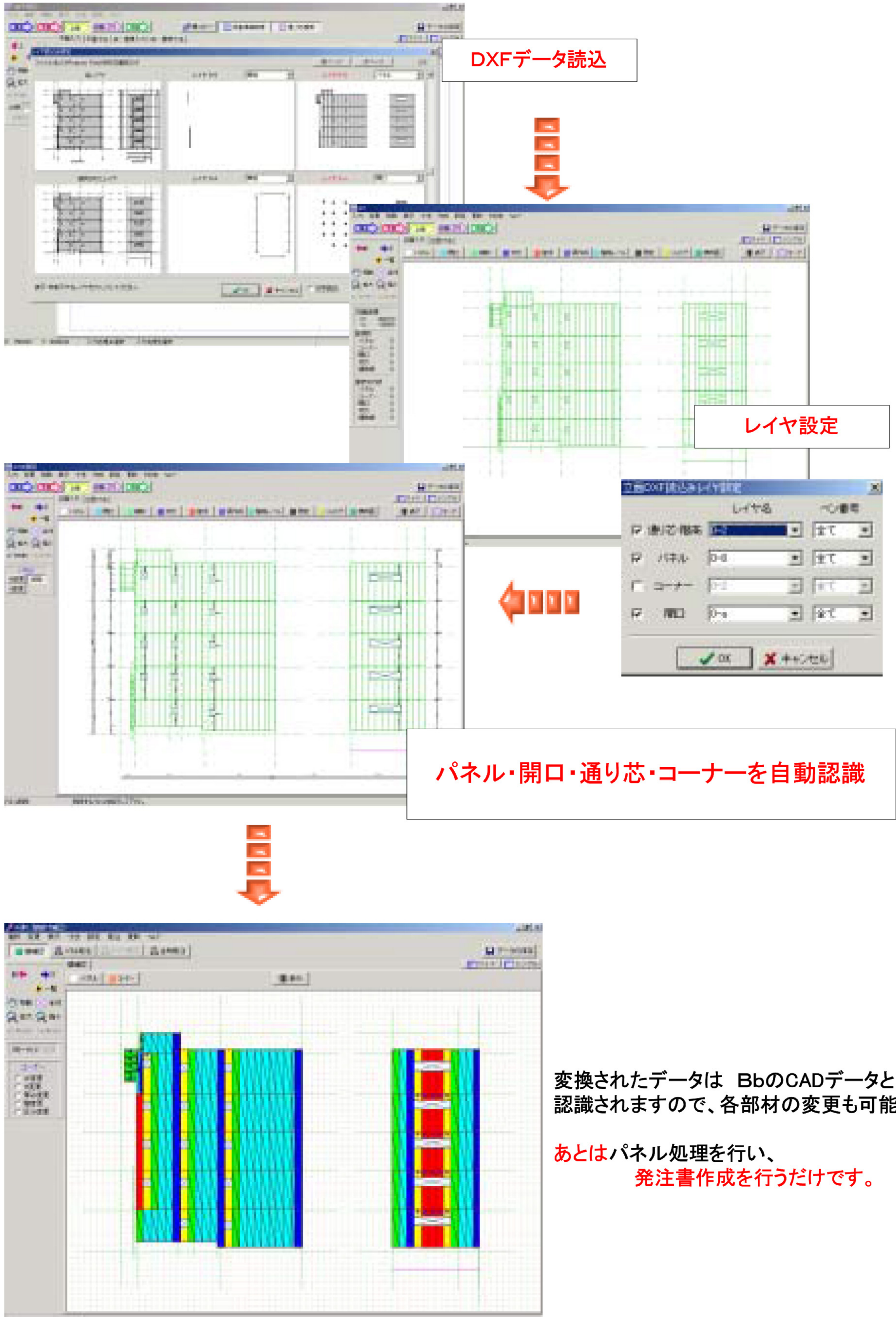
このあとは壁情報を入力し
すぐに立面をおこすことが可能です。



DXF立面読込機能

オプション機能！！
となります

☆オプション機能のDXF立面読込では、パネル・開口情報を自動読み取りし、
すぐさま発注書を作成することが可能です。

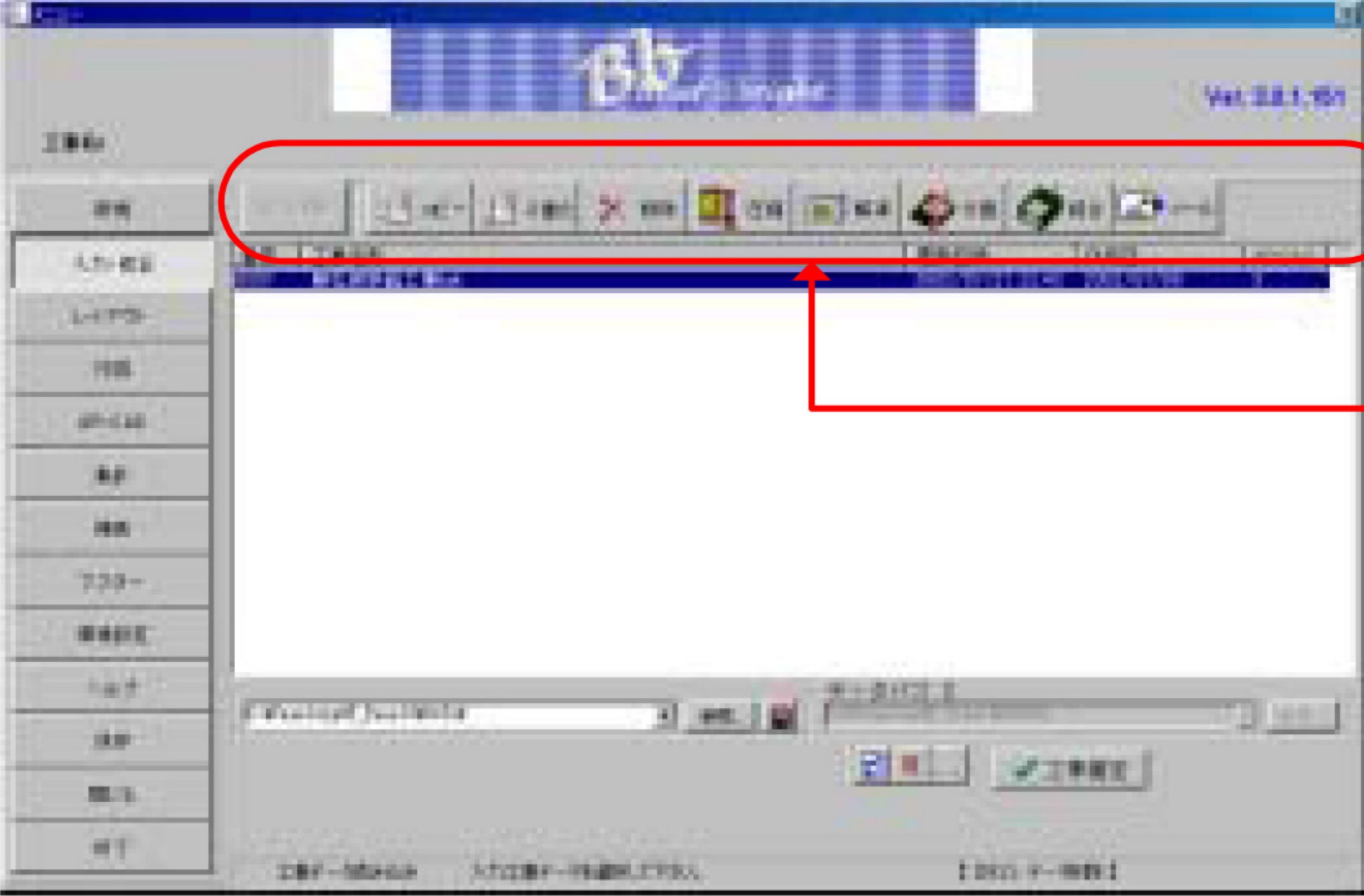




Bb (Brief & bright) の画面構成及び機能概要

<Ⅰ>メインメニュー

処理選択を行います

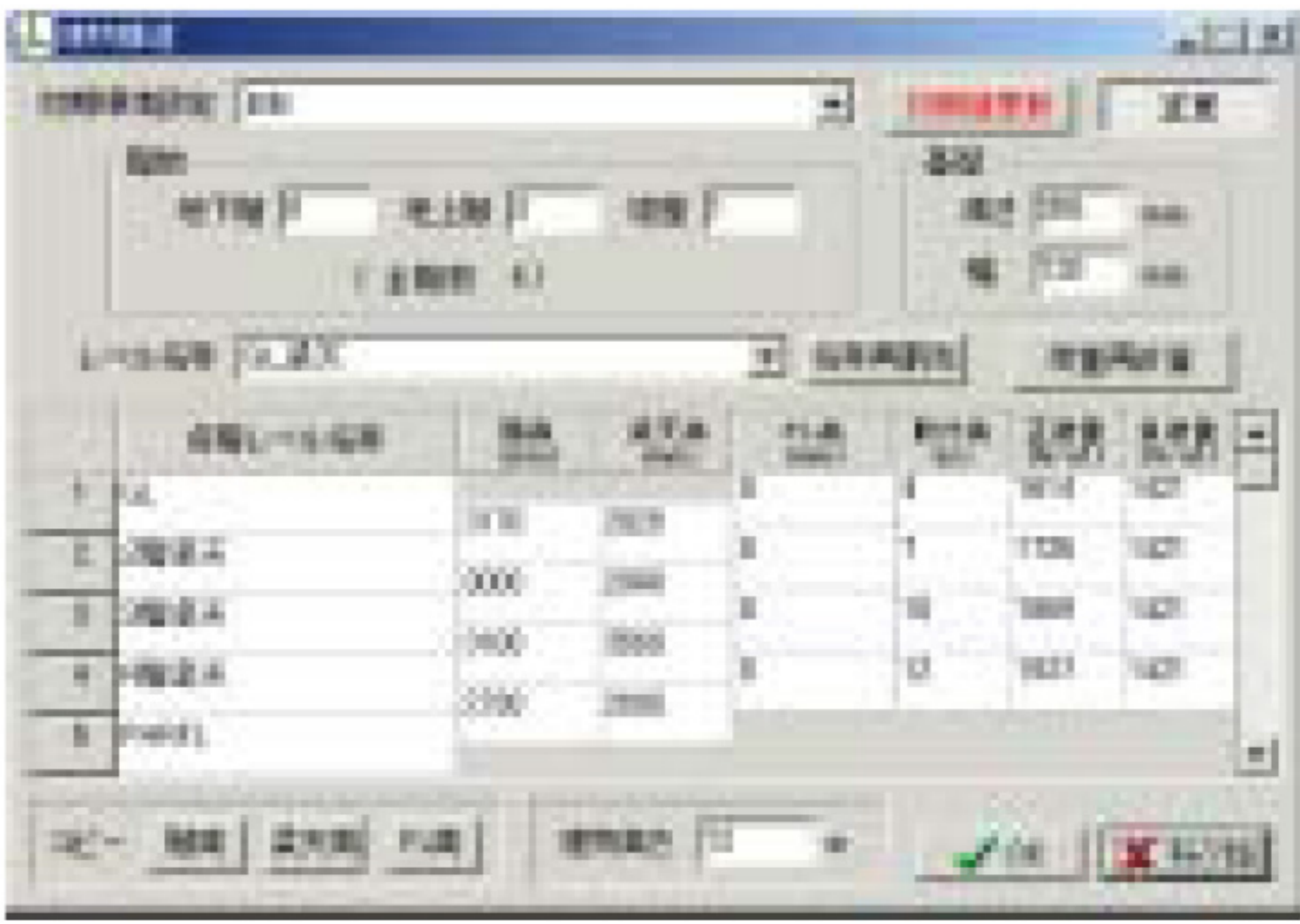


物件データの処理

コピー・削除・圧縮・解凍・分割(FDIに分割コピー)・結合(分割データを結合)・メール(Eメールでの圧縮データ送付)などよく利用する機能を簡単に利用していただけます。

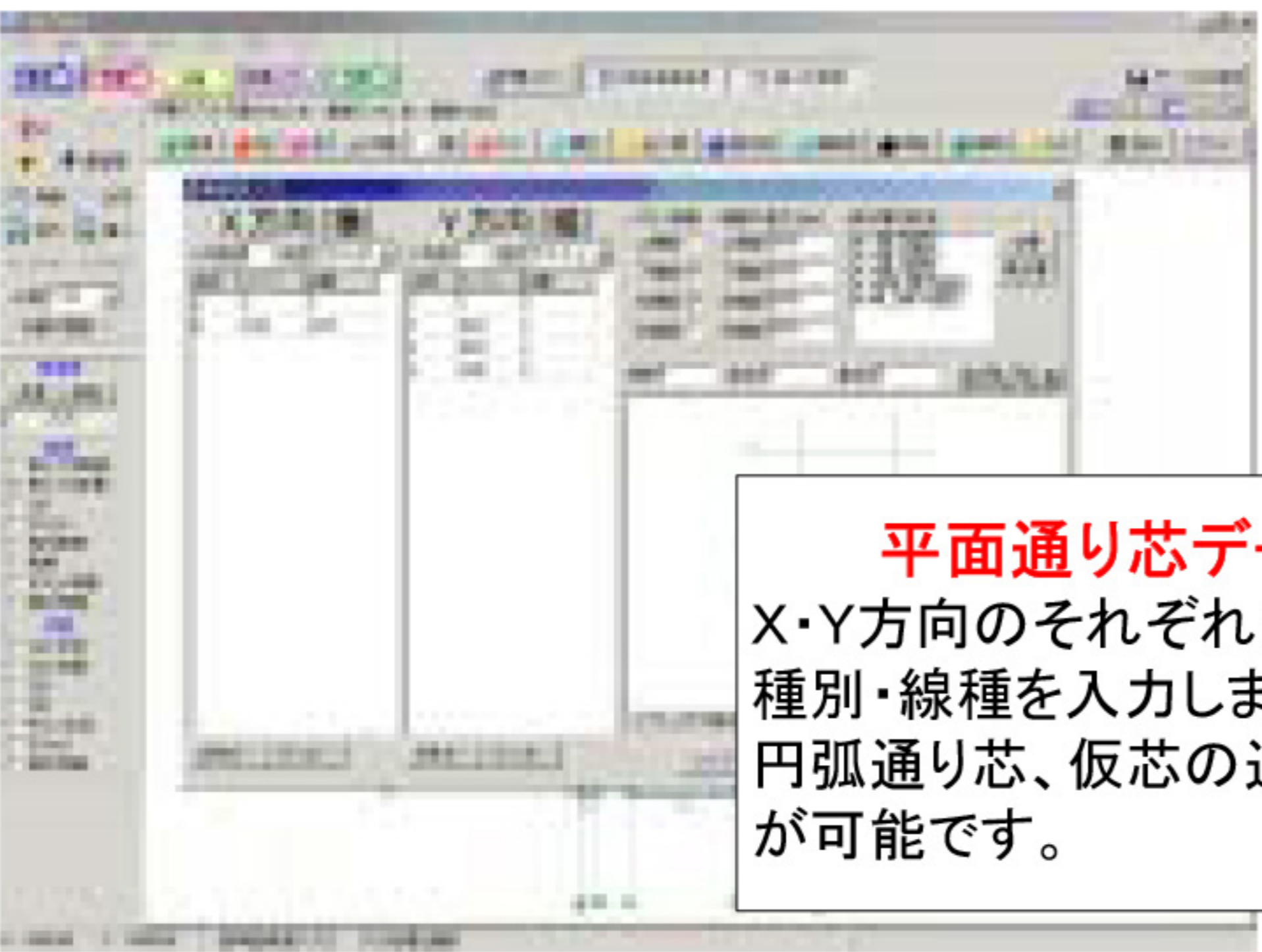
<Ⅱ>サブメニュー

物件情報・建物構造データを入力します



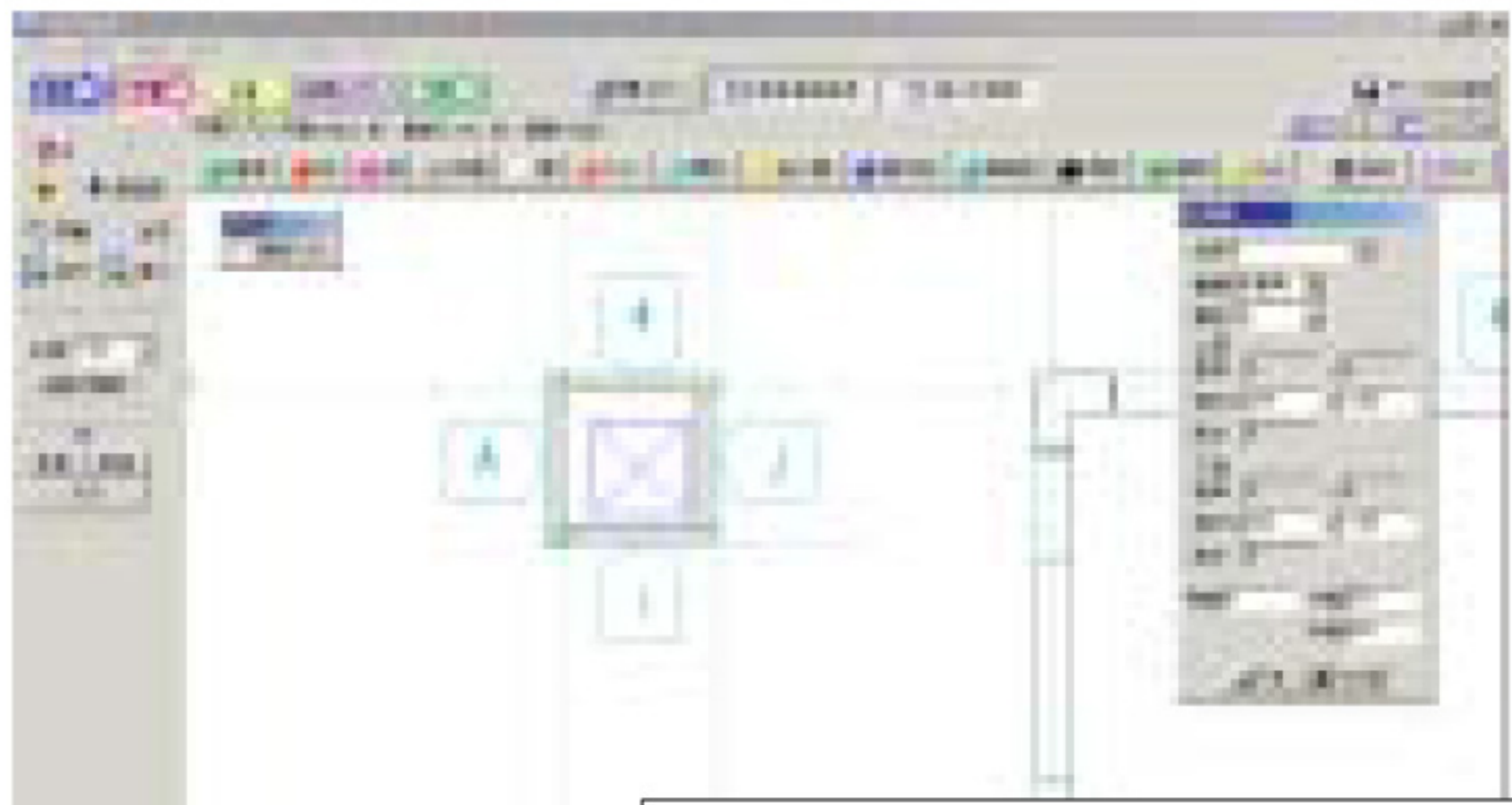
<Ⅲ>平面図入力

平面図データ(通り芯・柱・梁・壁・コーナー・開口・出入隅)を入力します

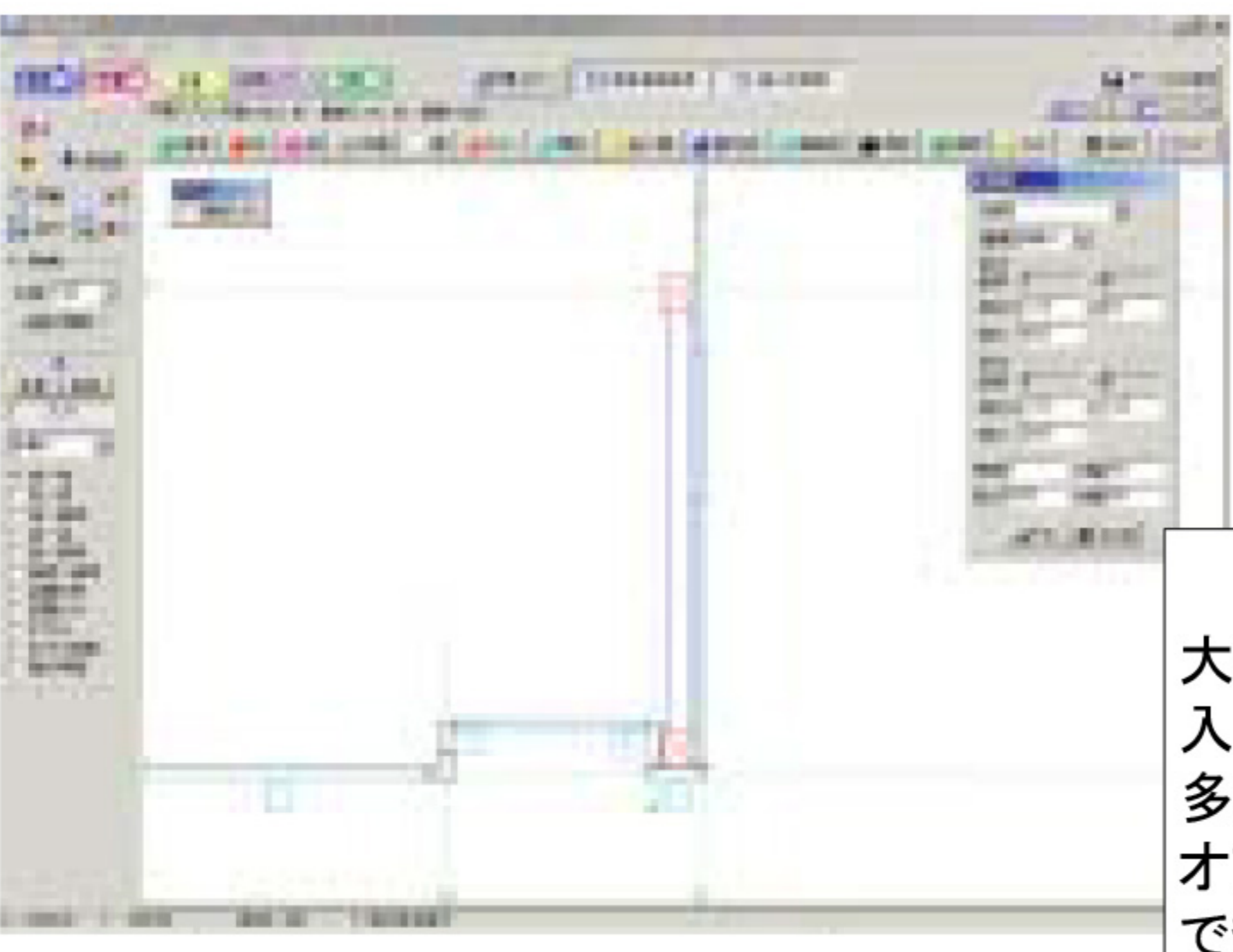


平面通り芯データの入力
 X・Y方向のそれぞれに通り芯名称・種別・線種を入力します。
 円弧通り芯、仮芯の追加、変更、削除が可能です。

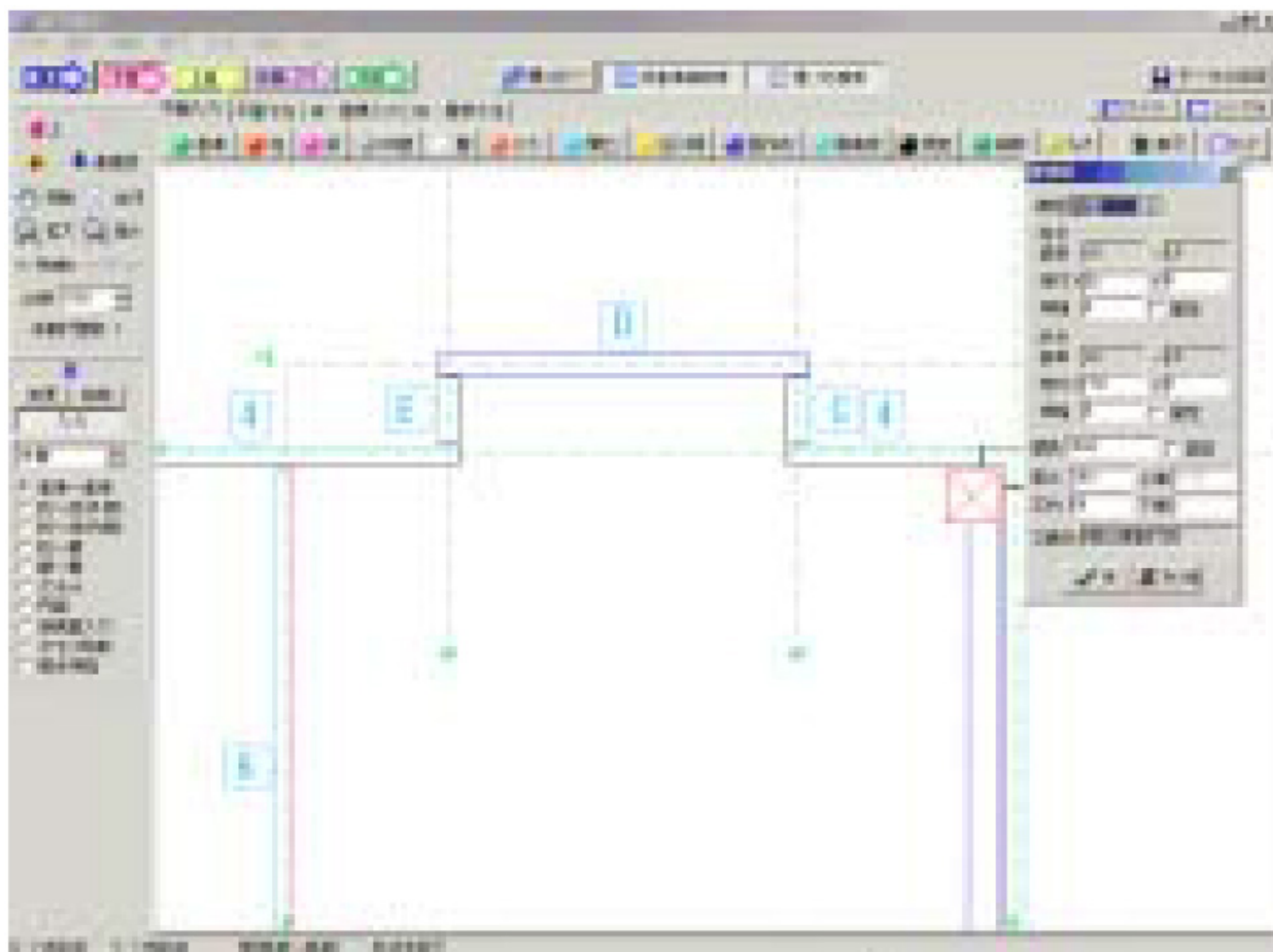
DXF読込の場合
 通り芯・柱・梁のデータ入力は不要となります



柱データの入力
 柱種を選択し、柱・間柱の入力・編集を行います。
 通り芯を基準に座標入力を行います。
 角度のついた通り芯にも簡単に入力を行うことができます。

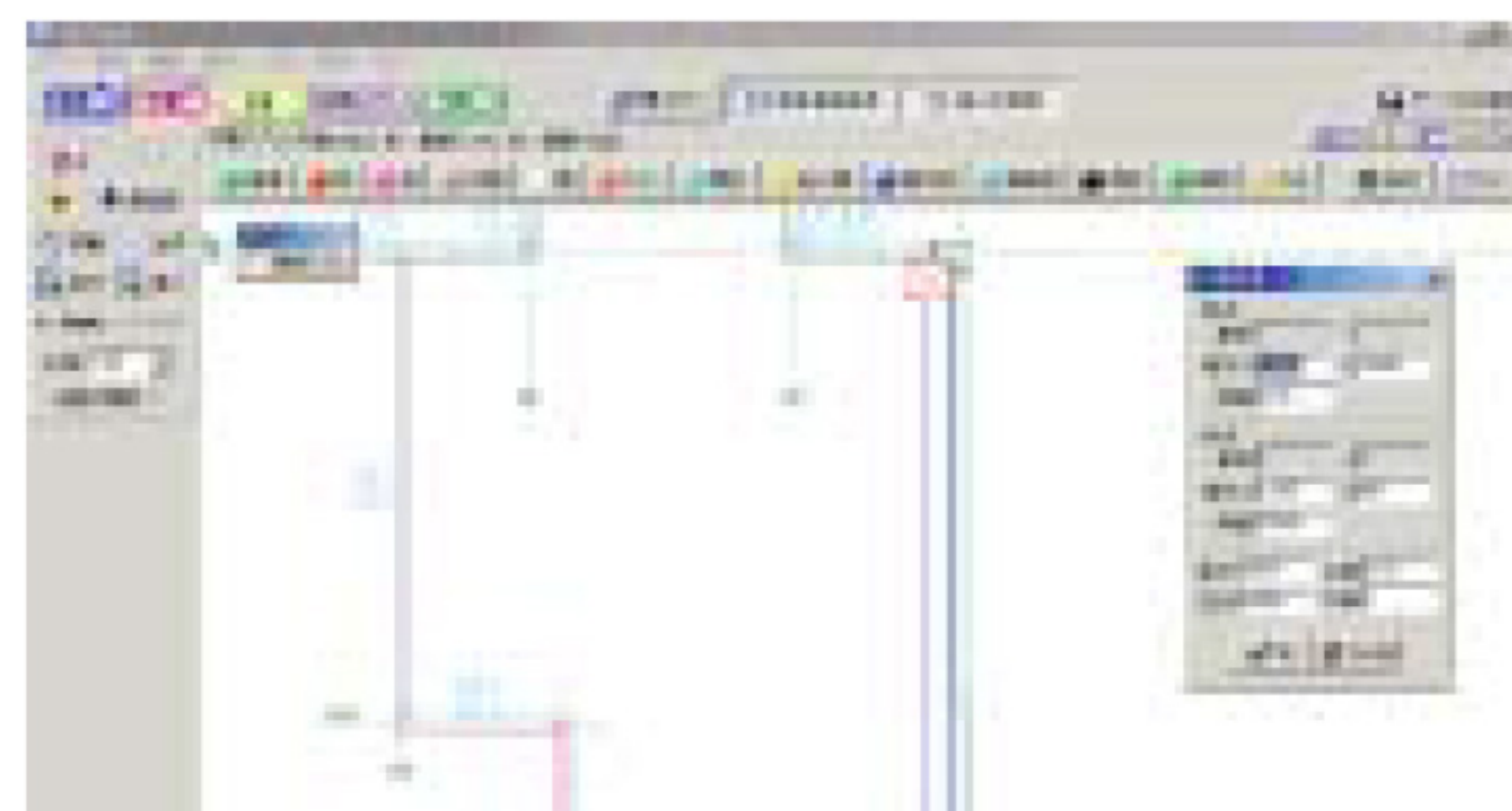


梁データの入力
 大梁・小梁の入力・編集を行います。
 入力基準は柱～柱、基準～基準、梁～梁等の多彩なパターンから選択できます。
 オフセット移動・伸縮の操作も自由に行うことができます。



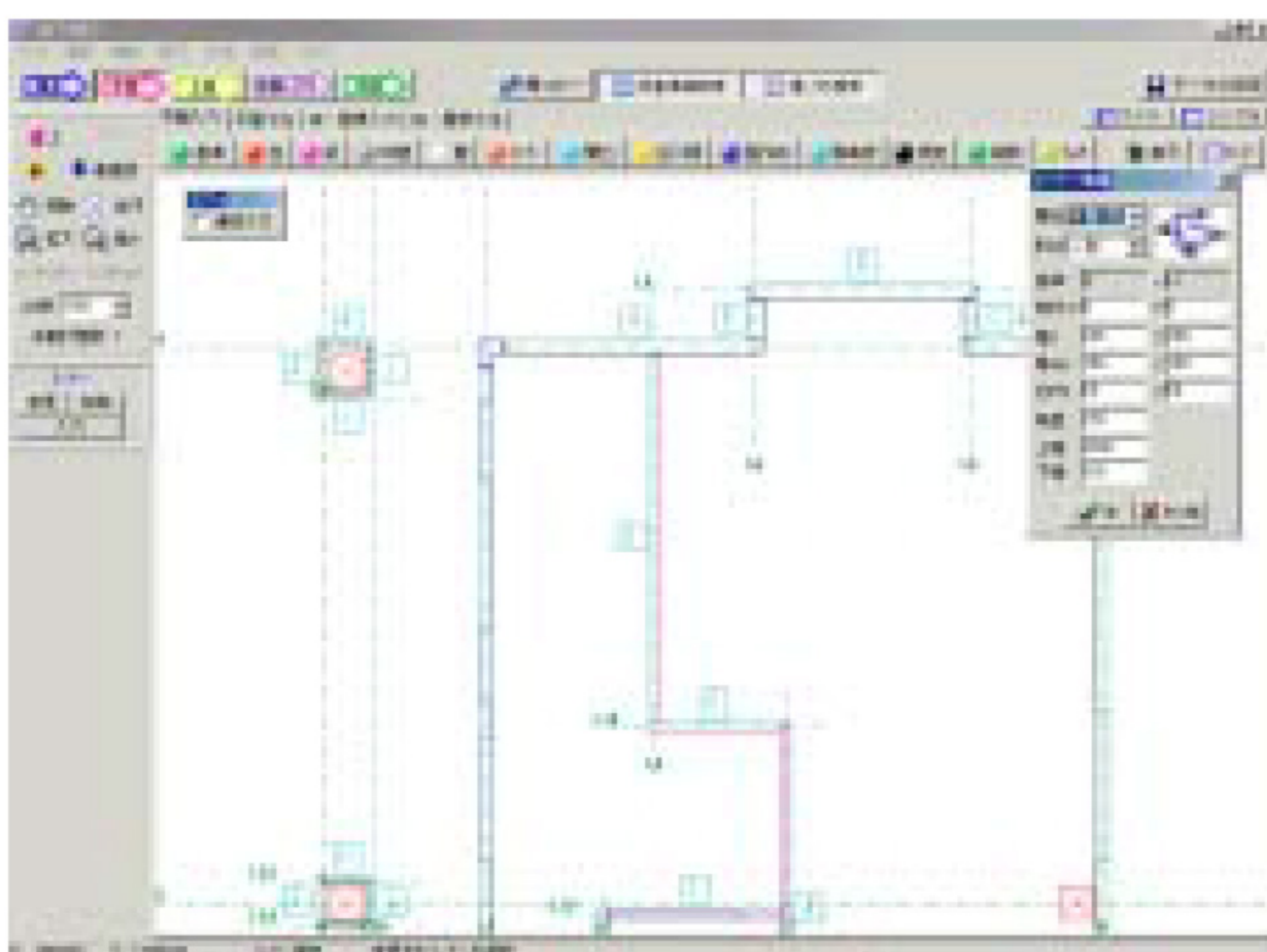
壁データの入力

壁種を選択及び壁入力を行います。
 入力基準は基準～基準、柱～柱(外・内側)等パターンから選択が可能です。
 またオフセット・伸縮・円弧入力が可能で、厚み・振分け・変更・削除なども自由に行うことができます。



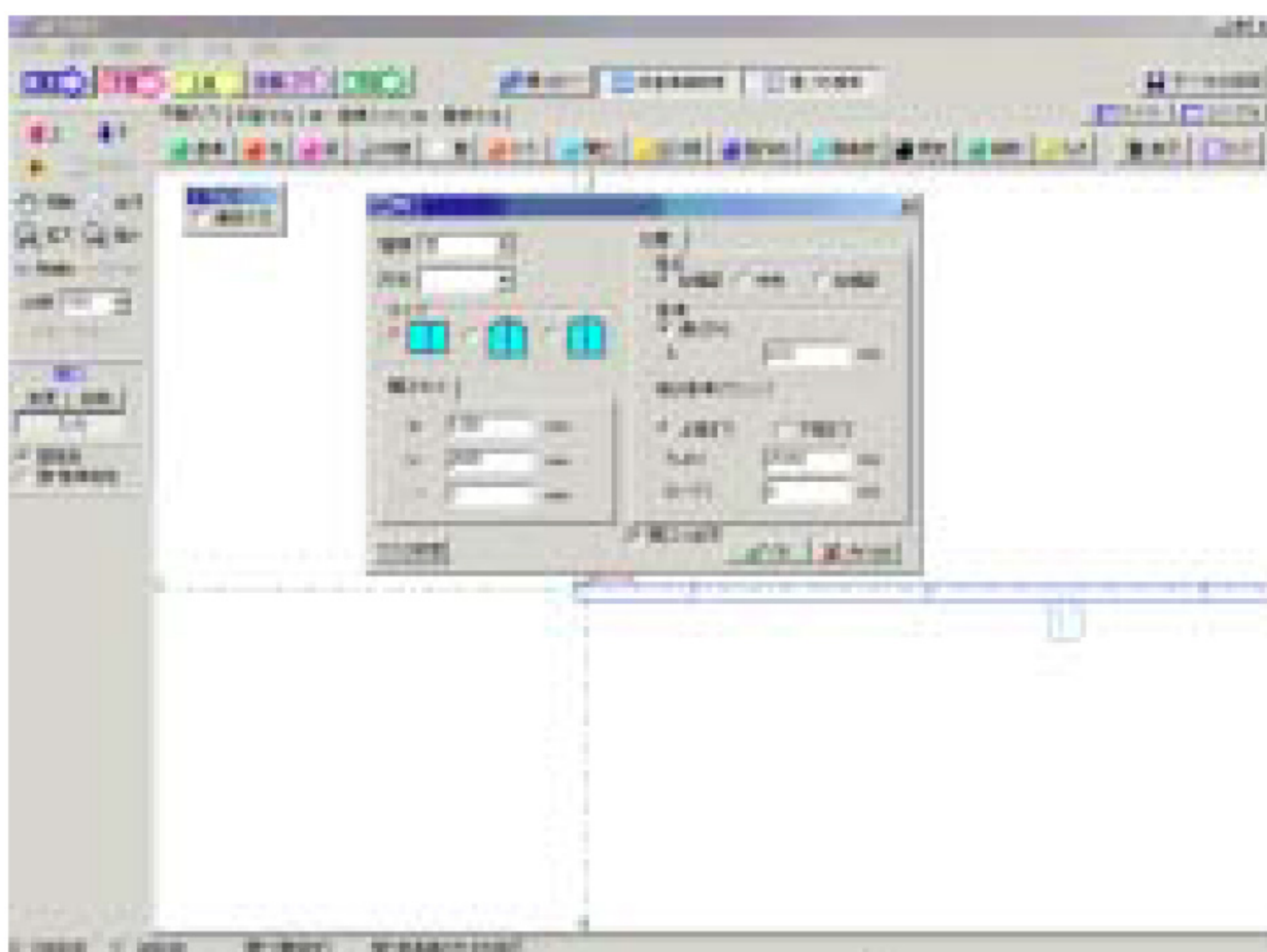
RC壁データの入力

RC壁として立面に起こす事ができます。
 RC柱・梁と併せると有効に表現できます。



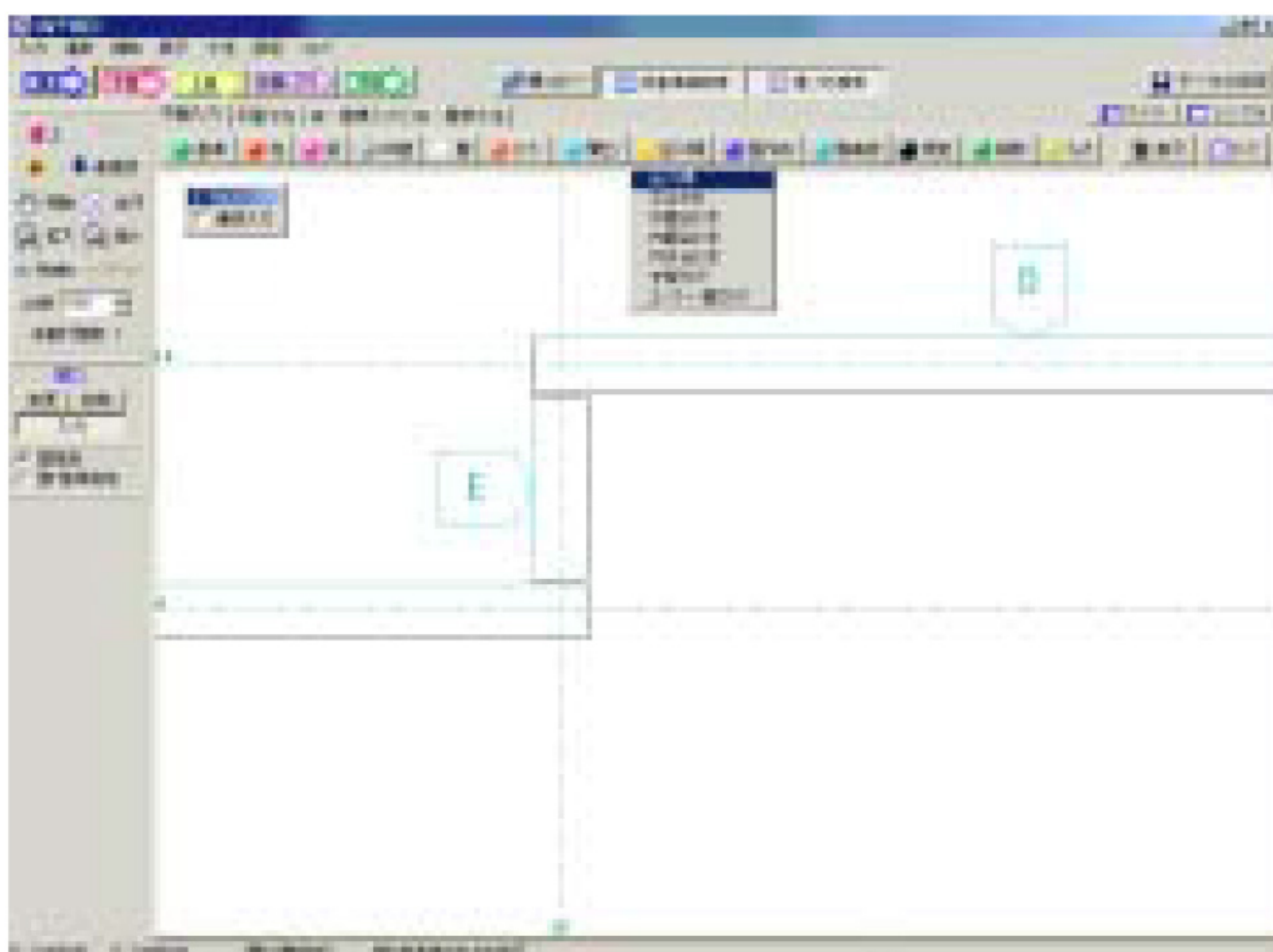
コーナーデータの入力

コーナーの入力が通り芯・壁端部をクリックする事により、自由に入力が行えます。
 角度・幅・厚みの設定が可能です。



開口部データの入力

開口入力・編集等を行います。
 開口の位置・高さの入力が開口入力Windowによって設計図面どおりに簡単に入力することができます。

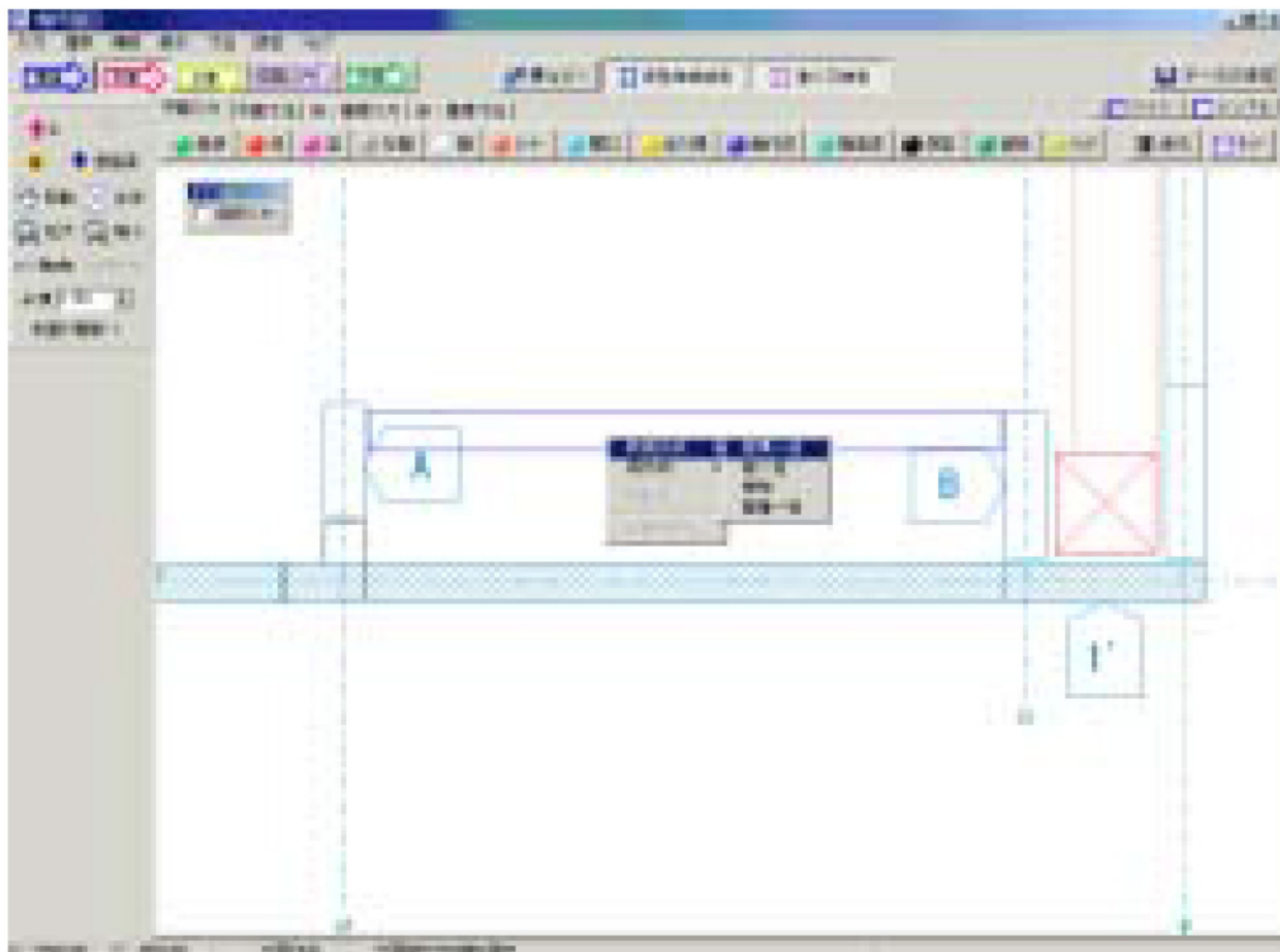


出隅入隅データの入力

壁端部・コーナ部・T字部の入替・クリア設定を簡単に行うことができます。
 斜め壁クリアも可能です。



その他平面図入力での機能



立面作成

平面壁から立面に起こします。
同壁芯・階指定・複数指定など選択する事により
自由に立面の立ち上げが可能です。



縦断面図作成

立面作成後、平面図の指示した位置で縦断面を
作成することができます。
範囲・切取方向を指示します。

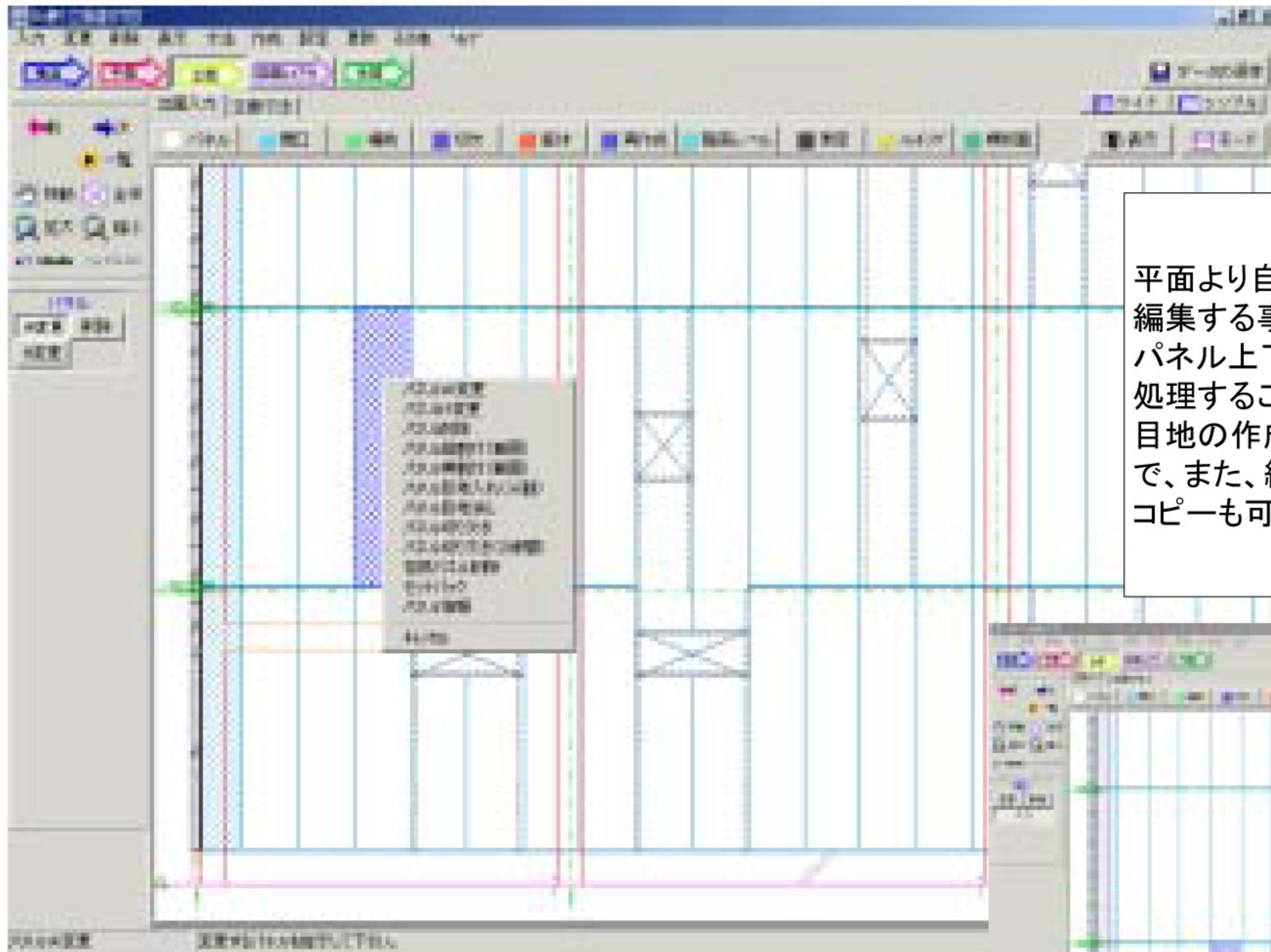


ハッチング記入

平面図内の任意の位置を指定してハッチングを
記入することができます。
ハッチング種類・角度・ピッチ等の設定を自由に
行うことができます。

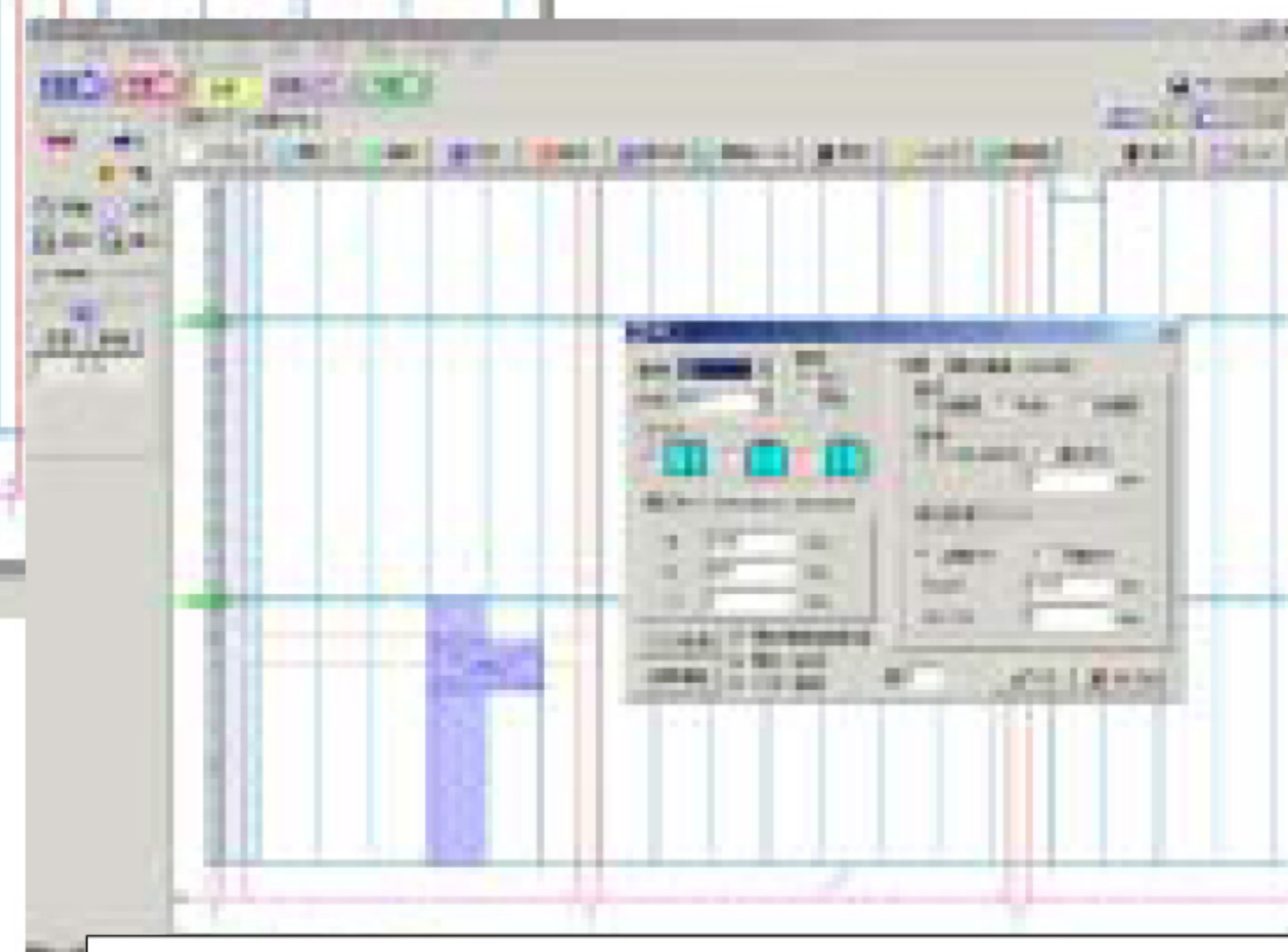
＜IV＞立面図入力

立面図データ(パネル・開口部・補助線・切欠)を入力します



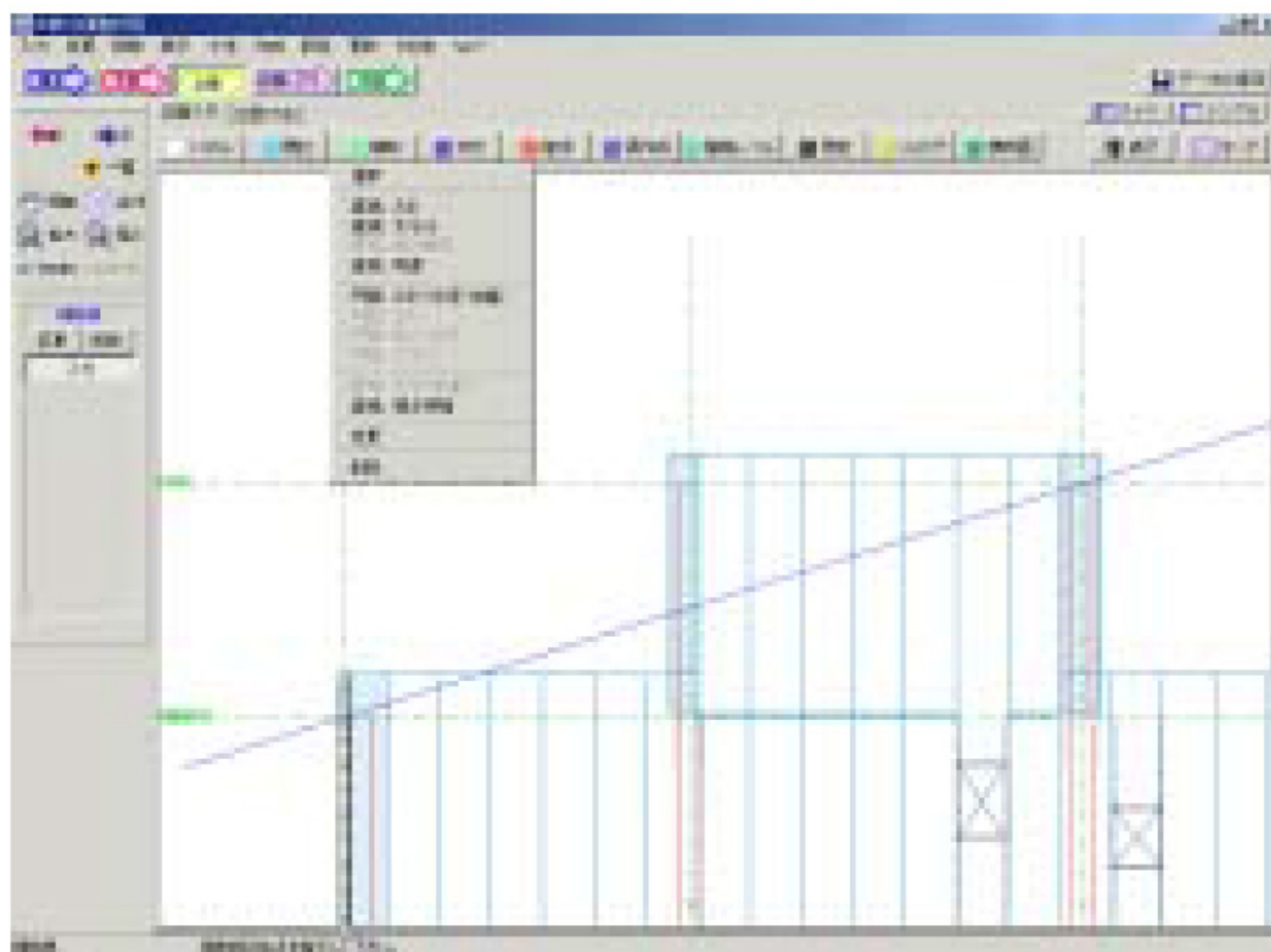
パネル編集

平面より自動でおこした立面のパネルを自由に編集することができます。
 パネル上下やパラペット部、下がり壁等の変更を簡単に処理することができます。
 目地の作成・削除、セットバックパネル入替も簡単な操作で、また、縦・横張りの混在、横張り割付位置の他面へのコピーも可能です。



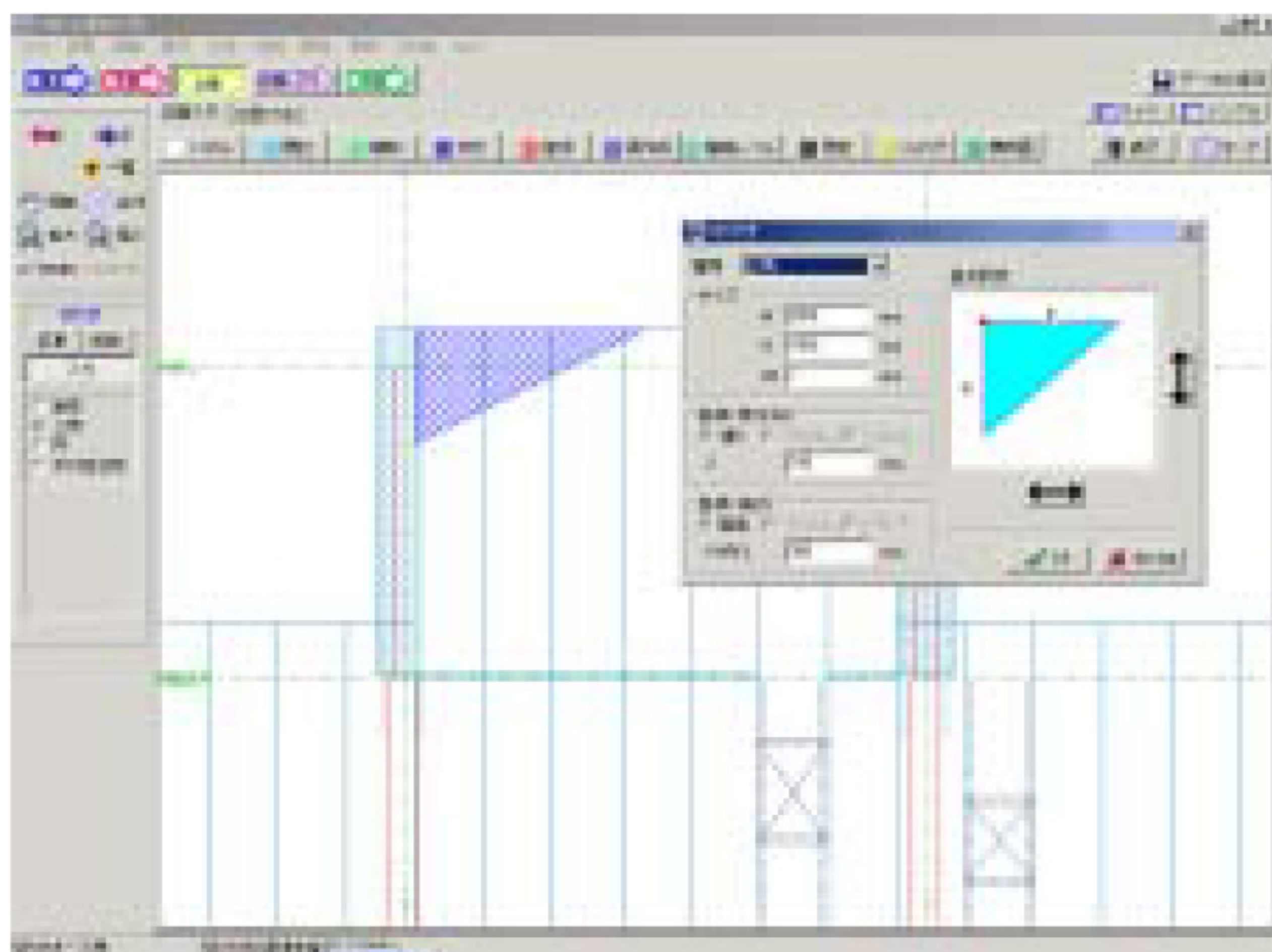
開口部データ入力

平面部と同様に立面部でも開口データの入力・編集が可能です。



補助線入力

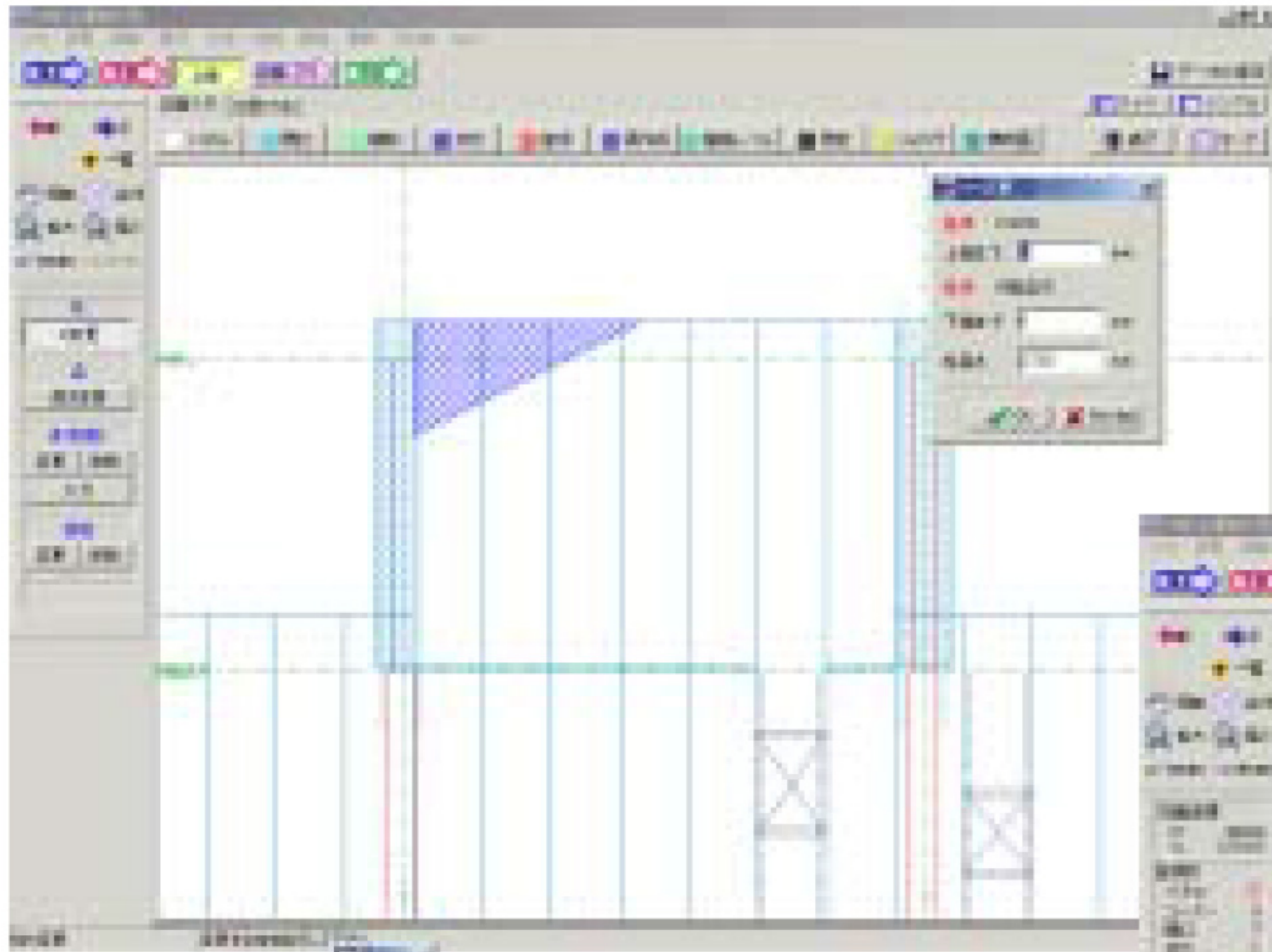
平面図通り芯入力部と同様に補助線の入力を行うことができます
 パネルの切欠線・R切欠に有効利用することが可能です。また、立面図のみに必要な補助線として表記することができます。



切欠入力

斜め・R・部分・円・平行四辺形・三角形等の入力によってパネルに切欠を行うことができます。
 また、手動・自動での梁型切欠や、補助線を利用した指定パネル間での切欠きも可能です。

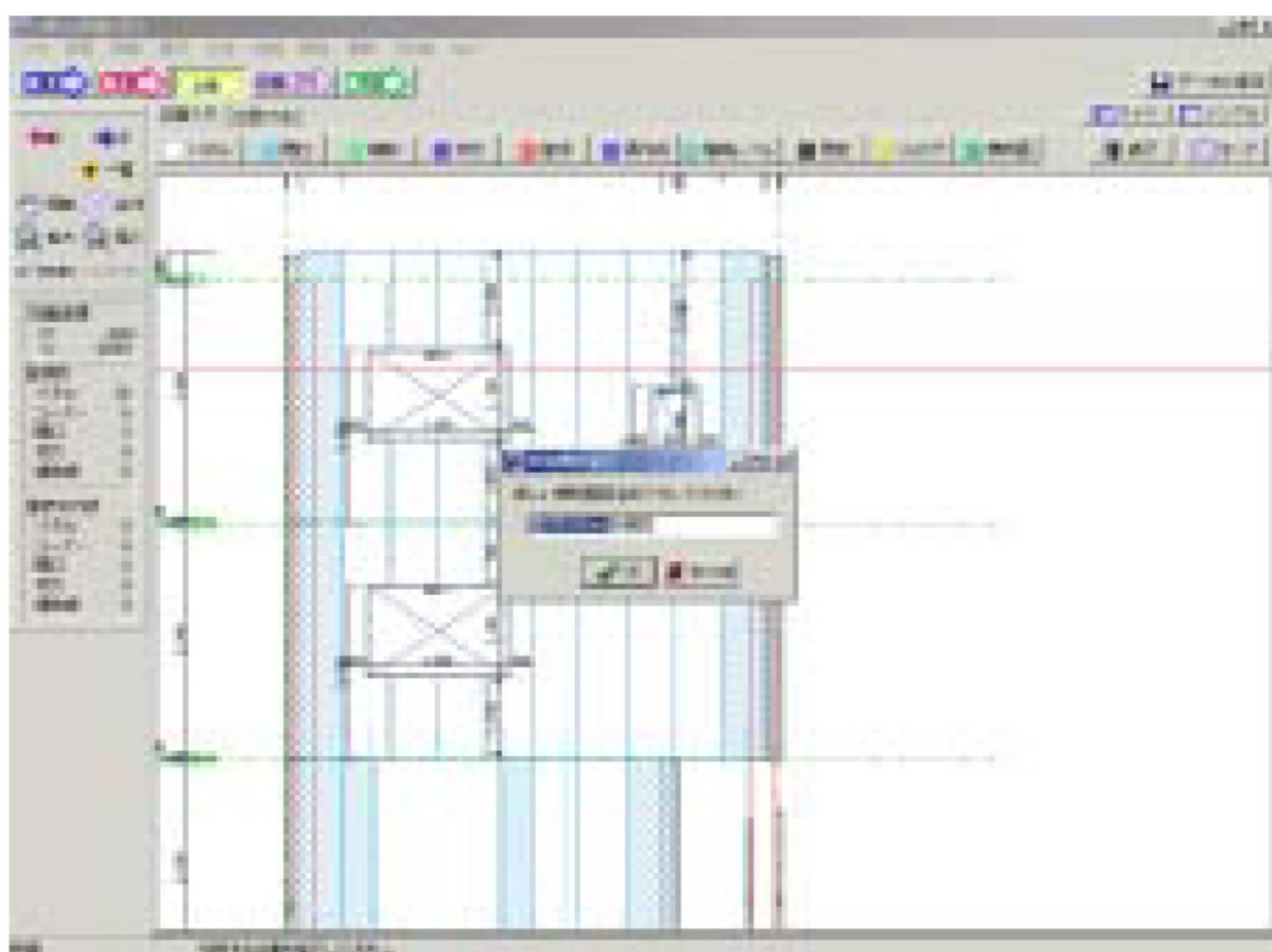
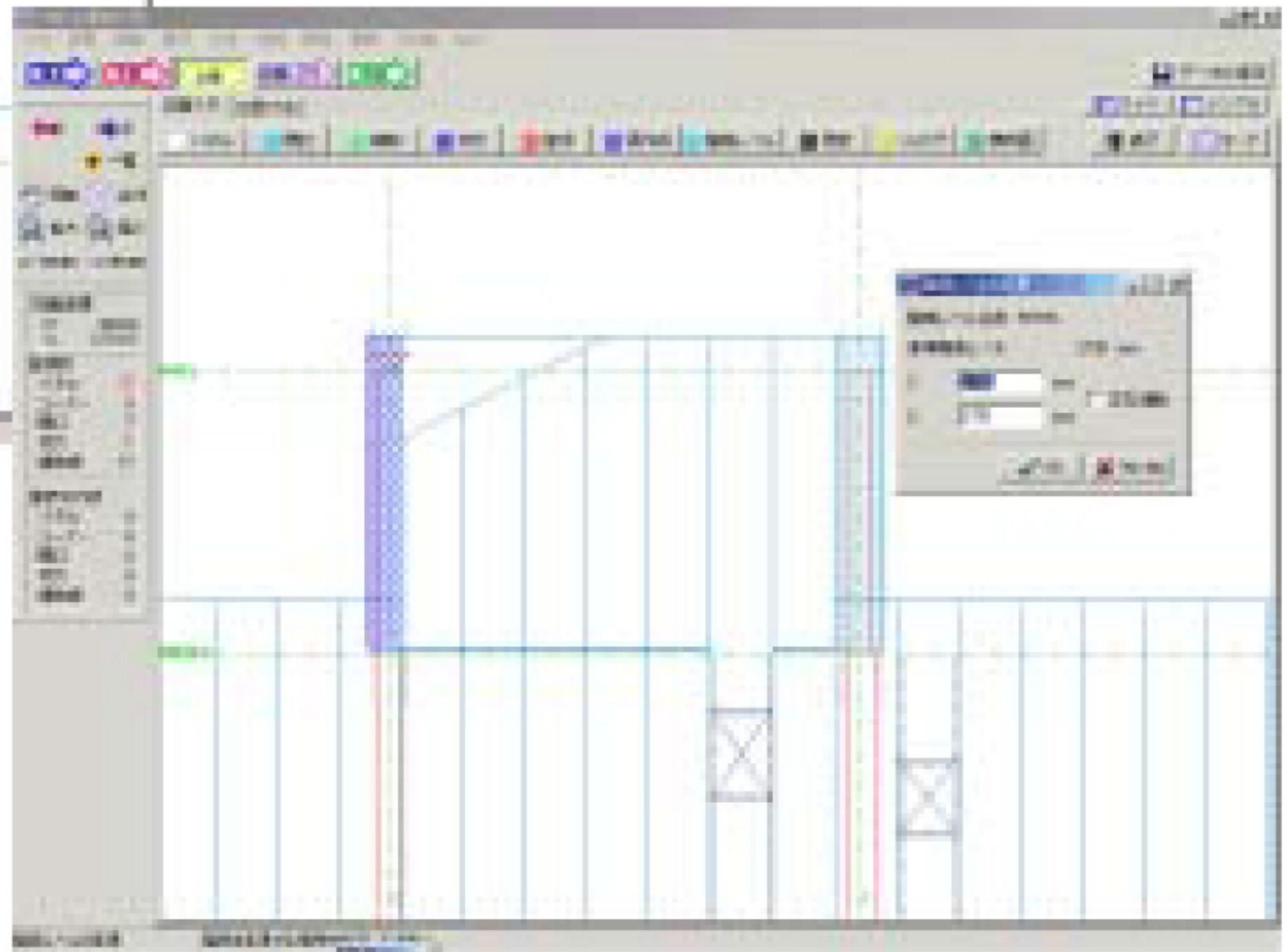
● その他立面入力での機能



躯体・階高編集

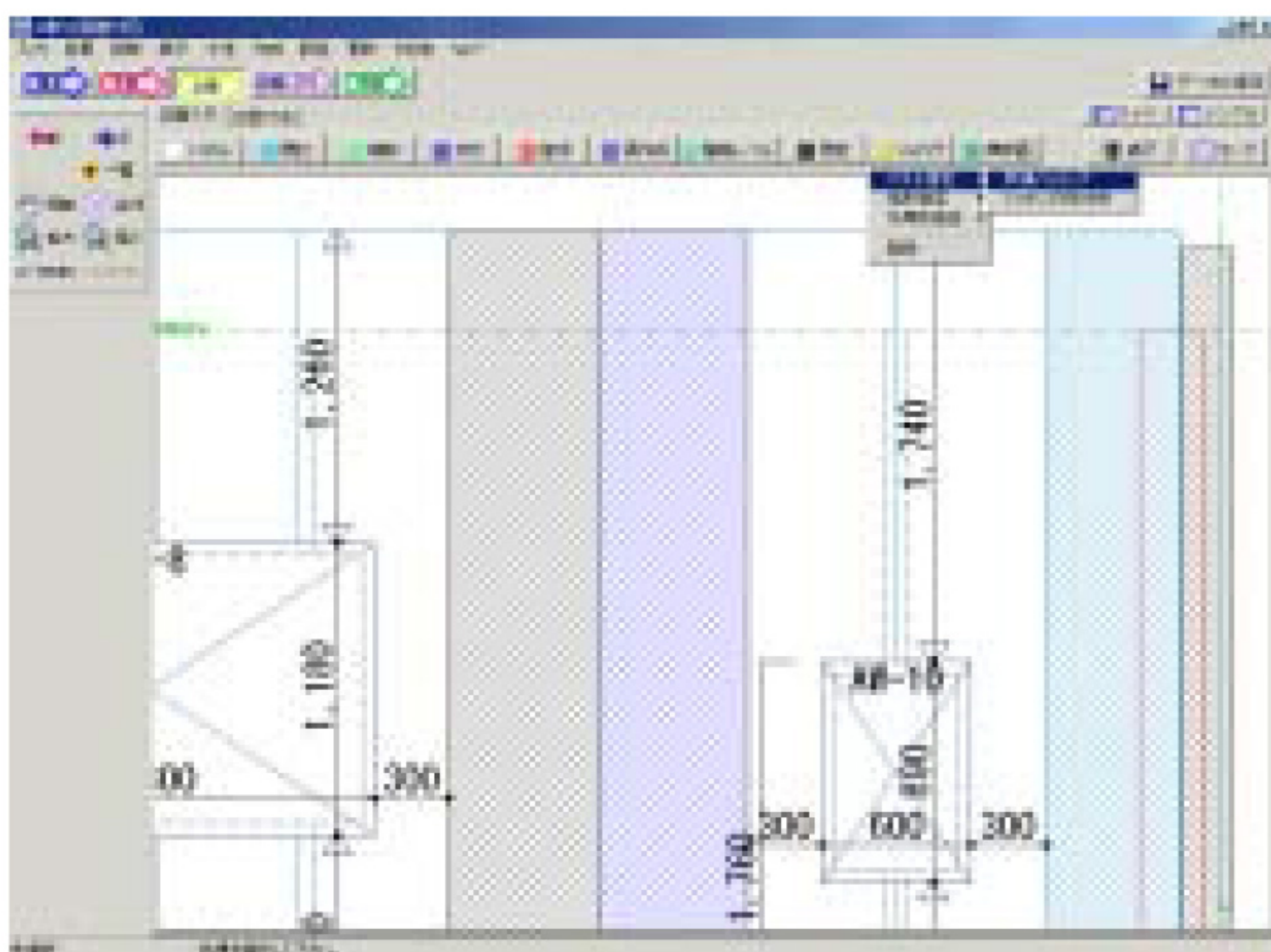
柱・梁の高さ、梁断面の編集、パネル面ごとの階高の編集、水上・水下勾配設定、段差処理を行うことができます

平面図で梁入力をしていなくても、梁型のみを立面図に表記することができます。



横断面図作成

立面図の指示した位置で横断面を作成することができます。範囲・切取方向を指示します。

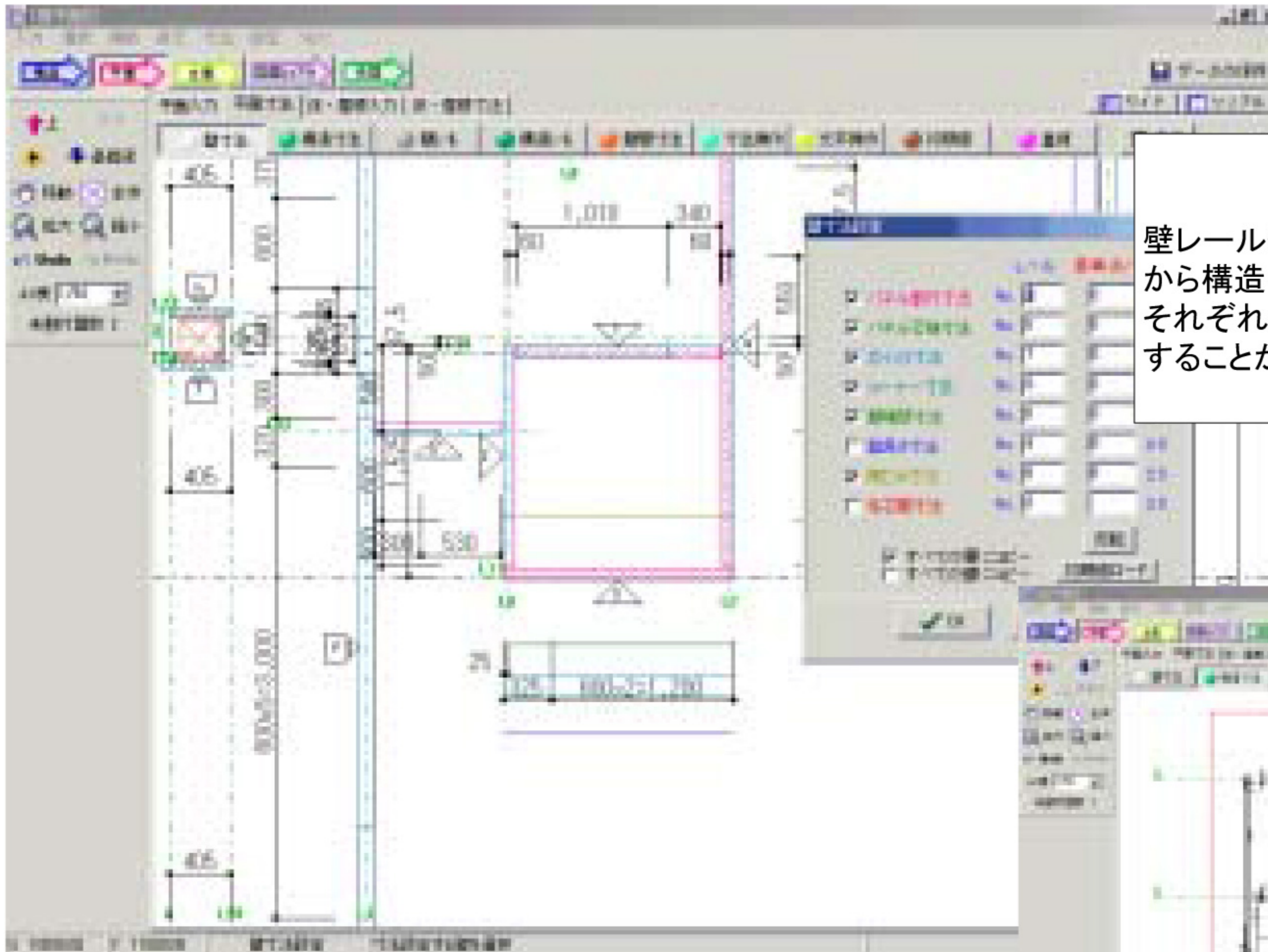


ハッチング記入

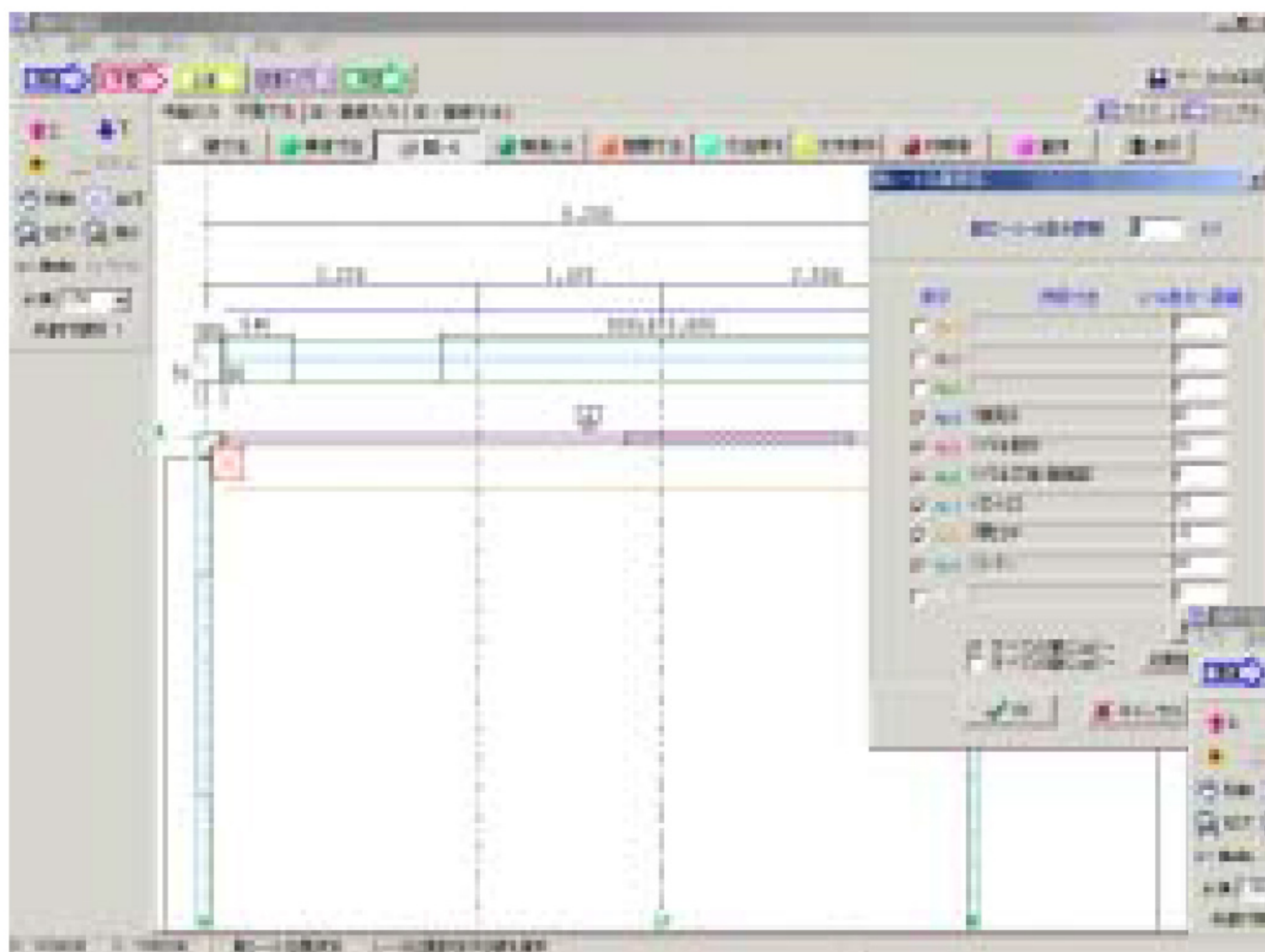
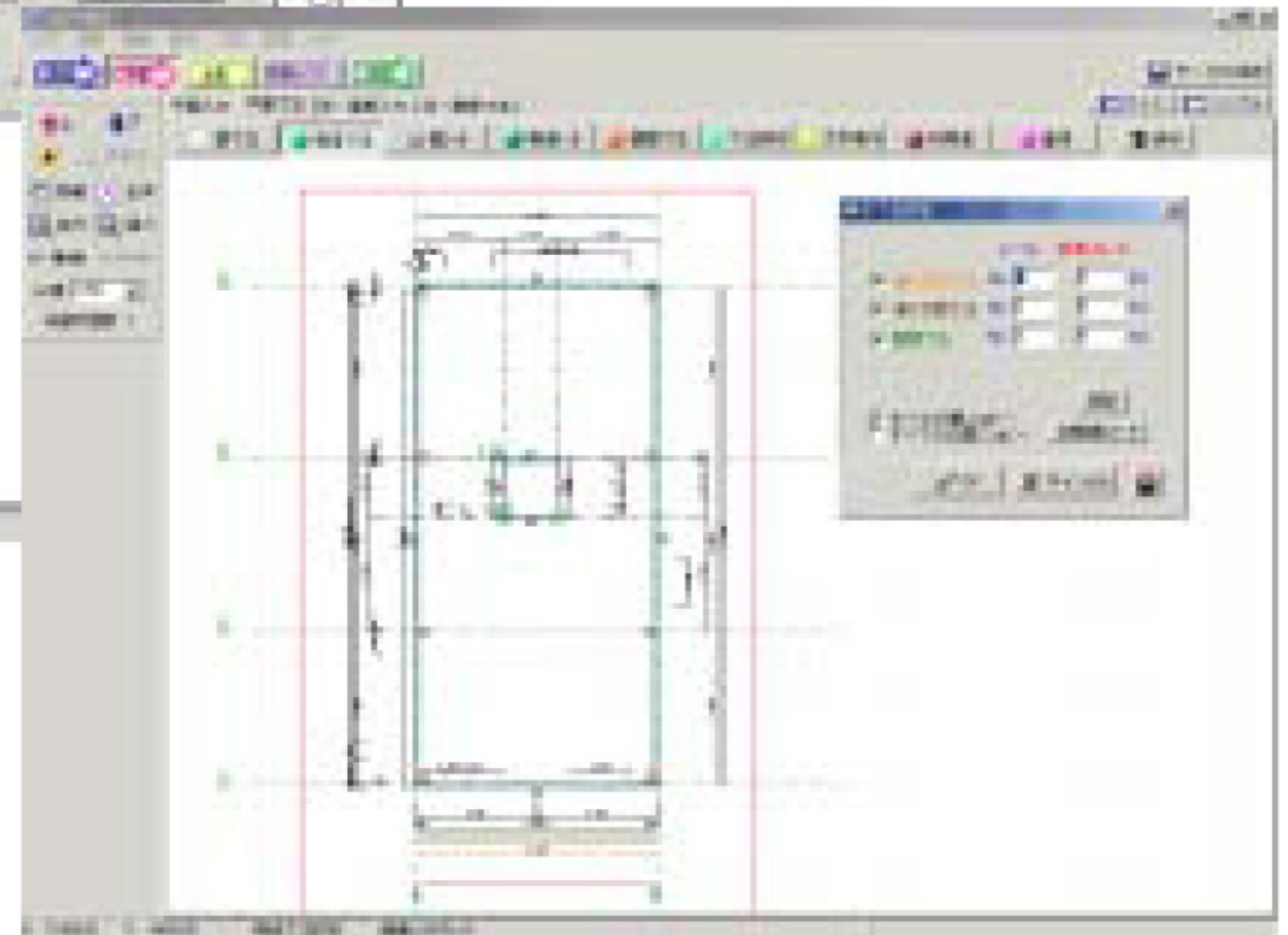
立面図内の任意の位置を指定してハッチングを記入することができます。ハッチング種類・角度・ピッチ等の設定を自由に行うことができます。

<V>平面寸法編集

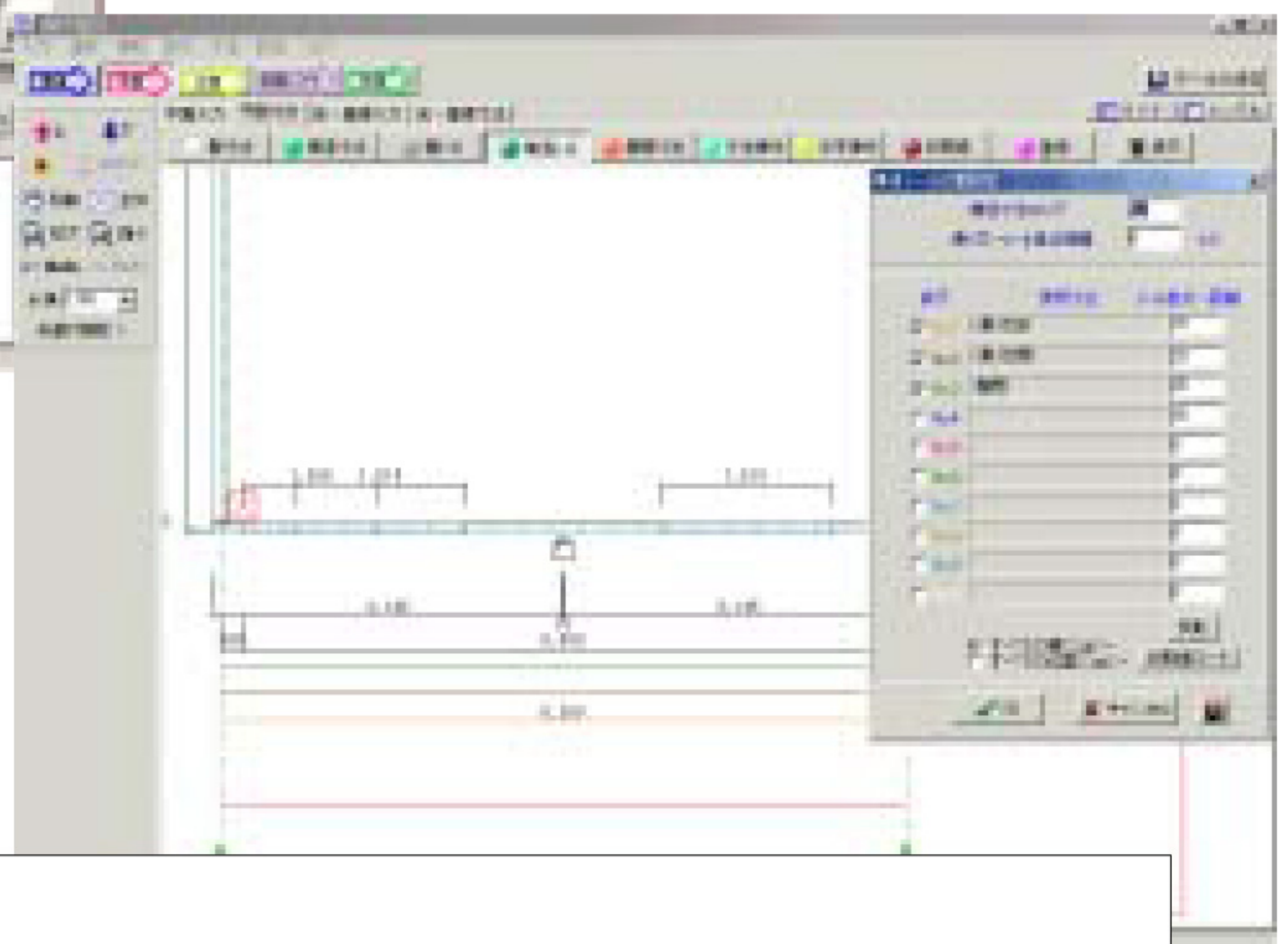
作成した平面図の各寸法線位置の細かな変更が可能です



壁・構造法設定
 壁レール線上から壁の各寸法線位置を、構造レール線上から構造各寸法位置を自由に設定することができます。それぞれのレールNo.の変更も可能で、細かな位置設定をすることができます。



壁レール・構造レール設定
 壁芯を基点に壁レールの各寸法の位置を、構造バルーンの中心を基点に構造レールの各寸法の位置を設定します。



- ※各寸法は初期値にて組み合わせが可能です。
 表記する寸法にレールNo.を指示し表示のon/offが可能です。(最大10レールまで)
 設定を他壁にコピーすることも可能です。
- ※反転機能により、初期位置から反転して表示が可能となっており、個々に設定する手間は必要ありません。また設定した位置を初期値として保存することもできます。
- ※マウスで位置を変更すれば、基準からの位置を表示します。
- ※画面上のレール線は色分けされており、分かり易い表示になっています。